修学カルテ プラグイン 管理者マニュアル

日本データパシフィック株式会社

Version 2.54.0, 2025-06-02

目次

はじめに
カルテ事例集3
医学部 臨床実習
教職履修カルテ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
運用の流れ
ロールの例
全体の流れ
1. 組織を登録する
2. カルテを登録する
3. 組織にカルテを割り当てる
4. カルテ編集可能期間を設定する
5. 学生がカルテに記入する
6. カルテにコメントする 27
カルテXMLを作成する
XMLの基礎
チュートリアル
レシピ集
カルテXML仕様
XMLとは何か
チュートリアル
レシピ集
カルテデータ エクスポート/インポート
エクスポート
インポート
外部公開URL
外部公開されたカルテ
学生が外部公開する
管理者が外部公開URLの一括設定する72
カルテXML仕様
カルテXML仕様
カルテの基本構造を定義するタグの仕様
入力項目を定義するタグの仕様
プロフィールを定義するタグの仕様82
カードを定義するタグの仕様
カード内に配置する項目を定義するタグの仕様
サマリーの表示を定義するタグの仕様
グラフの表示を定義するタグの仕様
その他のタグの仕様

はじめに

修学カルテは、大学を通しての学修について、教員のレビューを受けながら、学生が定期的に目標の設 定と達成の振り返りを行うためのツールです。

定期的に評価する

年次ごと、学期ごと等、一定の間隔で評価できます。

必要な資質能力についての自己評価

学生情報											
プロフィール	編集		7_+	ftD	chugak	u carto ucor					
			 F:	2	修業カル	r学生1					
		21	5	経済学部							
			学科	64	国際経営学	科					
エクスポート	印刷月	目面面									
Summary 1年次 🕜	1年次										
2年次 🕜	編集期 更新日	間:201 時:201	9-02-01 12:	00							
3年次 🕜	アドバ	イザー梅	の更新日時:	2019-0	02-08 11:13:	35					
₩外活動 🕝	編集										
	* 自己評価ループリック										
			1.全くできてい ない		.あまりできて いない	3.まあできてい る	4.よくできてい る	5.とてもよくで きている			
	分野A		まったくわから ない		店礎的なことは 型解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な如 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる			
	分野B		◆ まったくわから ない		5礎的なことは E解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる			
	成果物		成果物を提出 きなかった	с त् ₹	・ 下完全な成果物 を提出した	成果物を提出し た	テーマに合致し た成果物を提出 した	独創的でテーマ に合敢した成果 物を提出した			
	(記入日時::	2019-0	2-08 10:53:2	25 [修匀	学カルテ学生1])						
	,	* 振り返	0	自分の	ロペースで取り着	且みたい。					
	* /		N/K	(記入) た可	日時:2019-02-	08 10:53:25 [修告	₽カルテ学生1])				
				をお (記入)	三冊 して取り組の 日時:2019-02-	OE 4 a R い C U 3	、フ。 洋力ルテアドバイザ	-1])			
	編集			(記入日時:2019-02-08 11:13:35 [修学カルテアドバ							

評価値の変化をグラフで確認できます。



記録を溜める

活動記録や成果物を溜めておくことができます。

Summary	課外活	動		
1年次 🕑	編集期	問: 2019-02-01 12:0	00	
3年次 🕑	更新日	時: 2019-02-08 10:3	36:34	
4年次	編集	検索		
課外活動 🕜		日付 🕈	活動内容◆	更新日時
	2019/02	/01	でしてきた。最初は苦労したが、結果は良か ったと思う。	2019-02- 08 10:35:34 修学カル テ学生1
	2019/02	/02	引き続きでした。	2019-02- 08 10:36:34 修学カル テ学生1
	編集			[]

カルテの内容は自由に作成できる

設定ファイル(XML)を編集することで、入力項目や表示するグラフを自由に変更できます。



カルテ事例集

修学カルテでは、設定ファイル(XML)を編集することで、入力項目や表示するグラフを自由に変更できます。運用に合わせてカルテ内容をカスタマイズしていくことになります。

以下では、実際に運用可能なカルテ作成例をご紹介します。

医学部 臨床実習

医学系のコースで行われる臨床実習の実施を記録できます。臨床実習到達目標、診療科のローテーション記録、臨床実習で経験可能な医行為の経験度の3つのカルテをつけていきます。

臨床実習到達目標

臨床実習における到達目標達成度を記録するカルテです。

カルテ名 臨床実習	到達目標	▶ ユーザ デモ	学生1(test_user1)マ <u>一覧へ戻る</u>
臨床実習到 一 学生情報	達目標		
		ユーザID	test _user1
		氏名	デモ学生1
	· /	学部	
		学科	
エクスポート	印刷田庫商		
Summary 編集設定 1.診察の基本	1.診察の基本 _{更新日時:} 2020-09	5 -17 14:45:37	
3.基本臨床手技	1-1.問題志向型シ	ステムと臨床診断推論	□1.基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。 ☑ 2.得られた情報をもとに、その症例の問題点を抽出できる。 ☑ 3.病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。 □ 4.主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。
4.診療科臨床実習 🕝	4 0 刘兴於石		(2020-09-17 14:45:37 [デモ学生1])
5.地域医療臨床 実習 🕜	1-2.科子的根	愛に基フいに区療	□ 1.感度・特異度寺を考慮して、必要十分な検査を挙げることができる。
	1-3.診療記録と	プレゼンテーション	□1.適切に患者の情報を収集し、POMR(問題志向型診療記録)を作成できる。 ☑ 2.診療経過をSOAP(主観的所見・客観的所見・評価・計画)で記載できる。 □ 3.症例を適切に要約する習慣を身に着け、状況に応じて提示できる。 (2020-09-17 14:45:37 [デモ学生1])

Figure 1. 学生の画面

カルテ名 臨床実習到達目標										
ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を開く										
編集期間設	定表	示設定	カル	テデータエクスポート						
長示モード: 🤇	入力状況確	認 〇編	集期間研	≇認 ○表示設定確認						
リスト表示: <mark>✓</mark> ✓ 1.診察の基	All 本 🗹 2.診	察法 🗹 3	3.基本臨	床手技 ☑ 4.診療科臨	末実習 🗹 5.地域医療臨β	末実習				
≧3件										
ユーザID ↓≟	氏名♦	学部♦	学科♦	学生更新日時 \$	アドバイザー更新日時 \$	1.診察の基本	2.診察法	3.基本臨床手技	4.診療科臨床実習	5.地域医療臨床実習
user1	デモ学生1			2020-09-17 14:46:13		子生	子生 未	子生	7£ *	子生
	× • • • • • •			2020 00 // 14:40:10			-	<i>"</i> 1	ALC: NO	
_user2	デモ学生2					未	禾	木	未	未

Figure 2. 教員が学生の入力状況を確認する画面

診療科のローテーション記録

各診療科を周り、そこでの活動記録と、指導医による評価を記録するカルテです。

カルテ名 臨床実習	2	▼ ユーザ :	デモ学生1(test_user1) ▶ 一覧へ戻る							
臨床実習											
T LIAN		ユーザID	test_user1								
(氏名	デモ学生1								
		学部									
		学科									
	_										
Summary 編集設定	ローテーショ	ン1									
アンプロフェ ッショナルな	更新日時: 2020-09-1	7 14:45:11									
学生の評価	アドバイザー欄の更新	日時: 2020-10-05	15:10:02								
	外部公開してません	几 夕									
		R	(2020-09-17 14:26:	。 50 [デモ教員1])							
ローテーショ ン3 ぼ		限科	1内科								
ローテーショ ン4 図	(2020-09-17 14:26:50 [デモ教員1]) 診療科-その他入力欄 未回答										
ローテーショ ン5 ぼ	開始	日	2020/09/07	2020/09/07 (2020-09-17 14:26:50 [デモ教員1])							
ローテーショ ン6 🗭	終了 	7日	2020/09/18								
ローテーショ ン7 🗭			(2020-09-17 14:26:	50 [デモ教員1])							
ローテーショ ン8 ぼ	出席										
ローテーショ ン9 🗭		月	火		木 欠席	金 山府					
ローテーショ ン10 🗭	第1週	Щіф	Щіт	建刻	病欠のため						
ローテーショ ン11 🕼	第2週										
	第3週 第4週										
ローテーショ ン13 ぼ	学生による自己評価表	ŧ									
ローテーショ ン14 🕑	入院受け持	ち患者の数	1								
ローテーショ ン15 🕑	カルテを書いた患	最者の数(入院)	(2020-09-17 14:45: 2	(2020-09-17 14:45:11 [デモ学生1]) 2							
ローテーショ ン16 🕑	検査に関与した。	患者の数(入院)	(2020-09-17 14:45:	11 [デモ学生1])							
ローテーショ ン17 🗭			(2020-09-17 14:45:	11 [デモ学生1])							
ローテーショ ン18 🗭	検査に関与した患	慧者の数(外来)	4 (2020-09-17 14:45:	11 [デモ学生1])							
ローテーショ ン19 @	診察に関与した	患者の数(外来)	5 (2020-09-17 14:45:	11 [デモ学生1])							
ローテーショ ン20 ぽ	今回の臨床実	習の自己評価	できた	11 [デモ学生11)							
ローテーショ ン21 &	その他(特に良かっ	た点、改善点など)		ロレノ レナエ 川							
ローテーショ ン22 🕑	=			・• ・• 11 [デモ学生1])							

Figure 3. 学生の画面

カルテ名 臨床実習 カルテ設定								
ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を開く								
編集期間設定 表示設定 カルテデータエクスポート								
表示モード: ◎ 入力状況確認 ○ 編集期間確認 ○ 表示設定確認								
リスト表示: ZAII Z アンプロフェッショナルな学生の評価 Z ローテーション1 Z ローテーション2 Z ローテーション3 Z ローテーション4 Z ローテーション5 Z ローテーション6								
☑ ローテーション7 ☑ ローテーション8 ☑ ローテーション9 ☑ ローテーション10 ☑ ローテーション11 ☑ ローテーション12 ☑ ローテーション13 ☑ ローテーション14								
☑ ローテーション15 ☑ ローテーション16 ☑ ローテーション17 ☑ ローテーション18 ☑ ローテーション19 ☑ ローテーション20 ☑ ローテーション21								
☑ ローテーション22 ☑ ローテーション23 ☑ ローテーション24 ☑ ローテーション25 ☑ ローテーション26 ☑ ローテーション27 ☑ ローテーション28								
☑ ローテーション29 ☑ ローテーション30								
全3件								

ユーザID ↓≟	氏名♦	学部♦	学科♦	学生更新日時 \$	アドバイザー更新日時 令										п-
						第1週 (月)	第1週 (火)	第1週 (水)	第1週 (木)	第1週 (金)	第2週 (月)	第2週 (火)	第2週 (水)	第2週 (木)	第: (1
user1	<u>デモ学生1</u>			2020-09-17 14:45:11	2020-10-05 15:10:02	出席	出席	遅刻	欠席	出席					
user2	<u>デモ学生2</u>														
user3	<u>デモ学生3</u>														

Figure 4. 教員が学生の入力状況を確認する画面

臨床実習で経験可能な医行為の経験度

医行為履歴を記録するカルテです。



Figure 5. 学生の画面

カルテ名 臨	床実習で経	験可能な図	医行為の網	経験度 ♥ カルテ設	定	
ユーザID	ワイルドス 検索する	bード[*,	?]	詳細移	索を開く	
編集期間設	定表	示設定	カル	テデータエクスポート		
表示モード: 🤇	入力状況研	産認 ○ ;	編集期間	確認 ○表示設定確認]	
リスト表示: <mark>✓</mark> ✓ 医行為の¥	All 圣験度					
全3件						
🗆 ユーザID 🎼	氏名♦	学部♦	学科♦	学生更新日時♦	アドバイザー更新日時	
user1	<u>デモ学生1</u>			2020-09-17 14:56:10	3	
user2	<u>デモ学生2</u>				0	
user3	3 デモ学生3				0	

Figure 6. 教員が学生の入力状況を確認する画面

教職履修カルテ

教職過程で身につけるべき能力を評価するルーブリックを含んだカルテです。 教職履修カルテプラグインの項目をカスタマイズしたい場合、修学カルテで実際の運用に合わせてこのように作り込むことができます。

教職履修カルテ

学生情報

プロフィール編集

ユーザID	dpuser10
氏名	DPJ学生10
学部	
学科	
自由記述欄	
添付ファイル	



Figure 7. サマリー画面

Summary	4 年》27					
非設定	1年次					
年次 🕑	編集期間: 2020-11-07	14:36				
年次 🕑	史新日時: 2020-11-07	14:39:50				
年次 🕑	アドバイザー欄の更新	日時: 2020-01-15 15:1	10:05			
.年次	編集					
年次	どのような教師	になりたいか	子どもたちの心を	しっかりと捉えることができ	る教師になりたい。	
年次			(2020-11-07 14:3	9:50 [DPJ学生 1 01)		
年次	今年次の履行	冬のまとめ	学習の過程で意義	を理解することを意識できた。	•	
年次			(2020-11-07 14:2)		•	
			(2020-11-07 14:3	9.30 [DF3+±1 0])		
	学校教育についての理解	¥				
		1.全くできていた	い 2.あまりで	きていない 3.まあできて	いる 4.よくできてい	る 5.とてもよくできてい る
	【教職の意義】	1	2	♦ 3	4	5
	教職の意義や教員の役 割、職務内容、子ども に対する責務を理解し ていますか。					
	【教育の理念・教育 史・思想の理解】	1	◆ 2	3	4	5
	教育の理念、教育に関 する歴史・思想につい ての基礎理論・知識を 習得していますか。					
	【学校教育の社会的・ 制度的・経営的理解】 学校教育の社会的・制	1	2	♦ 3	4	5
	度的・経営的理解に必 要な基礎理論・知識を 習得していますか。					

Figure 8. 年次毎に評価していく

(2020-11-07 14:39:50 [DPJ学生10])

運用の流れ

ロールの例

修学カルテにおけるロールの代表的な例は次のようになります。

ロール名	役割
教務課	XMLファイルを用いてカルテを登録して、組織に割 り当てます。
指導教員	学生がカルテに書き込んでいる内容を確認して、ア ドバイスや評価を記入します。
学生	自分のカルテに記入します。



この役割は一例です。権限設定の仕方によって、複数の役割を兼任したり、ある役割 の人がいなかったりします。運用に合わせて設定を変えていくことになります。

全体の流れ

このロールに従うと、運用準備から運用中までの流れは以下のようになります。

- 運用開始準備:組織を登録する
 学習記録ビューア管理者が、学習記録ビューア管理画面から組織を追加、組織にプラグインを登録した後、権限設定することで修学カルテの運用準備が整います。
- カルテを登録する
 「教務課」が、XMLファイルを用いてカルテを登録します。
- 組織にカルテを割り当てる カルテを登録しただけでは、カルテを使うことができません。
 「教務課」が、登録したカルテを組織に割り当てる必要があります。
- カルテ編集可能期間を設定する
 「教務課」が、学生がカルテに記入できる期間を設定します。
- 5. 学生がカルテに記入する 「学生」が、自分のスキルや学んだことをカルテに書き込んでいきます。
- カルテにコメントする
 「指導教員」が、アドバイザーとして学生の書き込みに対してアドバイスや評価します。

1. 組織を登録する

修学カルテを運用するにあたって、まず学習記録ビューアシステム管理者が組織を作成し、組織にプラグ インを登録した後、権限設定を行う必要があります。

1.1. 組織を登録する

例として次のCSVファイルで組織を登録します。

組織は、CSVファイルを用いる方法以外にも登録方法が存在します。 組織の登録方法の詳細について は、学習記録ビューア管理者マニュアルの権限設定の項を参照してください。

organizat ion_id	parent_or ganizatio n_id	organizat ion_nam e	organizat ion_nam e_en	role_id	role_nam e			
shugaku 1		修学カル テ1			教務課	kyomu		
					指導教員	author1	author2	
					学生	user1	user2	user3
shugaku 2		修学カル テ2			教務課	kyomu		
					指導教員	author3	author4	
					学生	user4	user5	user6

- 1. WebClassに学習記録ビューア管理者でログイン後、メニュー「学習記録ビューア」>「組織の管理」 をクリックします。
- 2.「ファイルを選択」からCSVファイルを選択して「インポート」をクリックします。

学習記録ビューア管理	組織	システム	前の画面に戻る	システム管理者 🛃 💙
Q 検索 ▼ ■ Root ■ 修学カルテ ▶ ■ 全学修学カルテ		学習記録ビューア 組織一覧 画面左から組織を選択し、組織を追加/設定してくだ	さい。	
		組織一覧エクスポート <u>CSVダウンロード</u>		
		組織インポート CSVファイルから組織/所属メンバーを登録できま ◆ サンプルファイル ファイルを選択 ³ 択されていません ④ 現在のメンバーリストに追加/更新 ○ 古いメン インポート ▶ CSVファイル記述例	:す。 ·バーを削除してから	追加
		組織スケジューリング 組織メンバー変更スケジュールをCSVファイルで 織メンバーが入れ替わります。	登録しておけば、指定	定した日の0時に組

1.2. プラグインを登録する

- 1. インポートが成功したら「前のページに戻る」をクリックして、組織ツリーから該当の組織(ここでは「修 学カルテ1」または「修学カルテ2」)をクリックします。
- 2.「プラグイン」をクリックして以下の画面が表示された後、「追加」をクリックします。

システム	前の画面に戻る	システム管理者 🛟 🗸
Root ・ 修学カルテ1 syugaku1		膏 削除
下位組織 ↓ 追加 – 削除 下位組織は登録されていません		
メンバー ロール プラグイン 設定 ・ 追加 - 削除 この組織にはプラグインはありません		

3.「修学カルテ」にチェックを入れたあと、「追加する」をクリックしてプラグインを追加します。



4. 修学カルテプラグインが追加されているのが確認できます。このプラグインが登録された組織に権限 設定することで修学カルテの運用準備が整います。

Root 修学カルテ1 syugaku1
下位組織
□ + 追加 - 削除
下位組織は登録されていません
メンバー ロール プラグイン 設定
□ + 追加 - 削除
修学カルテ 大学を通しての学修について、学生が定期的に目標の設定と達成の振り返りを行うためのツールです。学期の前後で 目標と振り返りを確認して記入することで、学生自身の学修状況を確認したり、教員と相談したりすることができま す。

1.3. 権限設定

プラグインを追加すると、そのプラグインに応じた権限が設定できるようになります。権限はロールごとに 設定します。「設定」をクリックします。

Root	
● 修学カルテ1 syugaku1	〕 削除
下位組織	
□ + 追加 − 削除	
下位組織は登録されていません	
メンバー ロール プラグイン 設定	
□ + 追加 - 削除	
修学カルテ 大学を通しての学修について、学生が定期的に目標の設定と達成の振り返りを行うためのツールです。学期の前待 目標と振り返りを確認して記入することで、学生自身の学修状況を確認したり、教員と相談したりすることができ す。	发で きま

設定画面となります。ここにチェックを入れることで権限が付与されます。

メンバー ロール	プラグイン 設定	È		
修学カルテ				組織名を更新する
権限設定				
「 権限設定を保存する 、	□子孫組織の権限	設定も再帰的に更新する	5	
	User	教務課	指導教員	学生
組織管理				
組織管理				
修学カルテ				
自身のカルテを所有する				
担当ユーザーのカルテを閲 覧する				
担当ユーザーにアドバイス する				
担当ユーザーの編集設定を 変更する				
担当ユーザーヘメッセージ を送信する				
カルテを設定する				

今回は例として、次のような設定とします。

- ・「教務課」「指導教員」「学生」というロールが登録されている修学カルテ用組織を用いる
- 組織には修学カルテプラグインを追加済

メンバー ロ-	ール プラグイン	設定		
修学カルテ				組織名を更新する
権限設定 権限設定を保存する 日子孫組織の権限設定も再帰的に更新する				
	User	教務課	指導教員	学生
組織管理				
組織管理				
修学カルテ				
自身のカルテを所有す る				
担当ユーザーのカルテ を閲覧する				
担当ユーザーにアドバ イスする				
担当ユーザーの編集設 定を変更する				
担当ユーザーヘメッセ ージを送信する				
カルテを設定する				

この設定によって、それぞれ以下ができるようになります。

- •「教務課」は組織にカルテの登録や設定する
- ・「指導教員」はアドバイザーとしてカルテにアドバイスを書き込んだり「学生」にメッセージを送る
- ・「学生」は自分のカルテに書き込む

適切な権限にチェックを入れた後、「権限設定を保存する」をクリックします。ここで、組織のメンバーが修 学カルテを使用できるようになります。

メンバー ロ-	ール プラグイン	設定		
修学カルテ			ž	組織名を更新する
権限設定				
権限設定を保存	する □ 子孫組緯	ぱの権限設定も再帰	的に更新する	
	User	教務課	指導教員	学生
組織管理				
組織管理				
修学カルテ				
自身のカルテを所有す る				
担当ユーザーのカルテ を閲覧する				
担当ユーザーにアドバ イスする				
担当ユーザーの編集設 定を変更する				
担当ユーザーヘメッセ ージを送信する				
カルテを設定する				

組織登録と権限設定の具体的な操作については、学習記録ビューア管理者マニュアルの権限設定の項 を参照してください。

2. カルテを登録する



カルテを登録するには「カルテを設定する」権限を付与されている必要があります。

まず、使用するカルテの内容を決めます。カルテの内容はXMLファイルで記述します。

カルテXMLの作り方についてはshugaku_carte::creating-carte-xml.pdfを参照してください。 XMLのフ ォーマットについては、カルテXML仕様を参照してください。また、カルテ事例集に具体例があります。

カルテのサンプルXMLを以下に例示します。学生がルーブリックで自己評価をしアドバイザーがコメントできるカルテです。

Unresolved directive in modules/ROOT/pages/operation-flow/register-carte.adoc
- include::../assets/attachments/sample.xml[]

XMLファイルを作成後、カルテを登録します。

- 1. WebClassにログインします。
- 2. コースリスト画面で、メニューから「学習と振り返りの記録」>「修学カルテ (管理)」をクリックします。

WebClass			💌 修学カルテ管理者
コース・	マニュアル		ログアウト
学習と振り返り	の記録	参加しているコース	
» 修学カルテ (管	管理)	表示する学期	
学習記録ビュー	ーア	2018 \$ 後期 \$	
»コース活動状況	況		コースの追加

3. 修学カルテ(管理)画面が表示されます。「設定」をクリックします。

コースリストに戻る トップ 修学カルテ (管理)	修学カルテ管理者 ログアウト
カルテ 設定	
ロ <u>修学カル</u> テ	修学カルテ カルテ名 必要な資質能力についての自己評価・ カルテ設定
	ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を聞く カルテデータエクスポート
	表示モード: ② 入力状況確認 ○ 編集期間確認 ○ 表示設定確認 リスト表示: ② All ◎ 1年次 ◎ 2年次 ◎ 3年次 ◎ 4年次 ◎ 課外活動

4. 修学カルテ設定画面が表示されます。ここからXMLファイルを登録できます。



5. カルテのIDを任意の文字列で指定します。

:	コースリストに戻る トップ修学カルテ (管理)	修学カルテ管理者 ログアウト
カル	テ 設定	
ID ×ID (C	Choose File No file chosen 新規登録 使用できず 字は半角英数字と"-"と"_"のみです。また、先頭の文字をアルファベットにしてください。	
ID	タイト <mark>レ XML</mark>	
samp	le 必要な資質能力についての自己評価 »ダウンロード XMLを変更する 削除	



ー度登録したカルテを削除した場合、表示はできなくなりますが、学生の入力デ ータは削除されずに残ります。同じ ID を指定して登録し直すと、また表示できる ようになります。

- 6. XMLファイルを選択します。
- 7. [新規登録]ボタンをクリックして登録します。



ここでカルテを登録しても、すぐに学生がカルテを使用できるわけではありません。登録したカルテを学生に割り当てることで学生がカルテを利用できるようになります。

3. 組織にカルテを割り当てる



カルテを組織に割り当てるには「カルテを設定する」権限を付与されている必要があります。

修学カルテシステムにカルテを登録するだけでは、各組織でカルテを使うことができません。

登録したカルテの中から、学生が使用するカルテを組織に指定する必要があります。

1. カルテを登録するの手順通りに、修学カルテ(管理)画面を開きます。

コースリストに戻る トップ 修学カルテ (管理)	修学カルデ管理者 ログアウト
カルテ 設定	
	修学カルテ
ロ <u>修学カルテ</u>	カルテが設定されていません。 カルテ設定

2. 画面左に、修学カルテ用に権限設定された組織が表示されます。組織を選んでクリックします。



3. 画面右に以下のような画面が表示されます。[カルテ設定]ボタンをクリックします。

修学カルテ	
カルテが設定されていません。	カルテ設定

4. 登録したカルテから、学生に割り当てるカルテを選択できます。カルテを選択後、[選択したカルテを 登録する]ボタンをクリックします。

		~
»— <u>[</u>	覧に戻る	~
ì	選択したカルテを登録す	a
検索		
	ID	タイトル
	clinical	臨床実習
	storage1	ストレージ
	rirekisyo	履歴書
	exploration-research	課題研究論文の提出とルーブリック評価(調査研究コース)
	as	アカデミックスキルズ

5. これで、この組織に所属している学生が、割り当てたカルテを使用できるようになりました。



カルテを割り当てた組織だけでなく、その下部組織でもこのカルテを使用できるよう になります。 複数の組織で同じカルテを使用したい場合は、上部組織を作成し、そこ でカルテを割り当てることで、設定の手間を省けます。

4. カルテ編集可能期間を設定する



カルテ編集可能期間を設定するには、「担当ユーザーの編集設定を変更する」権限 を付与されている必要があります。

カルテの編集可能期間を設定します。学生は編集期間中カルテに記入できます。

編集期間を設定する手順は次の通りです。

- 1. カルテを登録するの手順通りに、修学カルテ(管理)画面を開きます。
- 2. 画面左に、修学カルテ用に権限設定された組織が表示されます。組織を選んでクリックします。



3. 画面右に以下のような画面が表示されます。編集期間を設定したいカルテを選択します。

	修学カルテ
ロ <u>修学カルテ</u>	カルテ名 必要な資質能力についての自己評価 🕄
	ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を聞く
	編集期間設定 表示設定 メッセージ作成 カルテデータエクスボート カルテデータインポート
	表示モード: ② 入力状況確認 🦳 編集期間確認 📄 表示設定確認
	リスト表示: ☎AII ☑ 1年次 ☑ 2年次 ☑ 3年次 ☑ 4年次 ☑ 課外活動
	全1件
	ユーザID L: 氏名 <
	学生
	 shugaku_carte_user1 修学カルテ学生1 経済学部 国際経営学科 2019-02-08 11:20:45 2019-02-08 11:13:35 済

4. 組織でカルテを割り当てられた学生が一覧されています。この学生がカルテを編集できるようにしま しょう。[編集期間設定]ボタンをクリックします。

修学カルテ

カルテ名 必要な資質能	力についての自己	評価 🕈				
ユーザID ワイルドス	カード[*,?]	検索する	詳細検	索を開く		
編集期間設定表	示設定メッ	/ セージ作成	カルテデ-	ータエクスポート た	コルテデータインポート	
表示モー 🤃 💿 入力状況研	2 定認 ○ 編集期間]確認 ○ ヲ	表示設定確認			
リスト表 このAll	3.在次 🔽 / 在次	🗖 運从 汗調	ŧh			
全1件						
ユーザID 追	氏名 🖨	学部 ♦	学科 ♦	学生更新日時 ♦	教員更新日時 ♦	1年
						学生
shugaku_carte_user1	修学カルテ学生1	経済学部	国際経営学科	2019-02-08 11:20:45	2019-02-08 11:13:35	済

5. 編集期間を設定します。

編集期間設定	表示設定	メッセージ作成	カルテデータエクスポート	カ .
対象のカード:	1年次	¢		
学生: 2019-04	4-01 12:00	\sim 2019-07-31	12:00	
• 検索結果の全員	○ チェックボッ	クスで選択		
1 人が対象です。				
一括設定する				

a. 編集期間を設定するカードを選択します。

b. 編集期間を入力します。

C.「検索結果の全員」を選択します。

d. [一括設定する]ボタンをクリックして設定を完了します。



カルテXMLで設定することにより、カルテを編集期間によらず常に編集できるようにもできます。詳しくは、<static_card>のedit-protect-setting属性を確認してください。

5. 学生がカルテに記入する



カルテに記入するには、「自身のカルテを所有する」権限を付与されている必要があります。

- 1. WebClassにログインします。
- 2. コースリスト画面で、メニュー「学習と振り返りの記録」の中からカルテ名を選んでクリックします。

WebClass		🐱 修学カルテ学生1 🎴
コース• マニュアル		ログアウト
学習と振り返りの記録	参加しているコース	
» 必要な資質能力についての自己 🚽 評価	表示する字期	
	2018 ♦ 後期 ♦	
学習記録ビューア		
» コース活動状況		コースの追加
	 WebClass コース・ マニュアル 学習と振り返りの記録 > 必要な資質能力についての自己 評価 学習記録ビューア > コース活動状況 	ソース・ マニュアル 学習と振り返りの記録 参加しているコース * 必要な資質能力についての自己 評価 表示する字期 学習記録ビューア 2018 * 後期 * * コース活動状況

3. カルテの内容が表示されます。入力したいカードを選択してクリックします。

_{コースリストに戻る} 修学カルテ					修学カルテ学生1 ログアウト
修学カルテ	必要な資質能力について デ生情報 プロフィール爆集 レレジン エクスポート 印刷用画面 シェクスポート 印刷用画面 シェクスポート 日刷用画面 シェクスポート ローターチャ 日 日評価ルーフ 山田 レーダーチャ 日日 山田 山	・ ユーザID 氏名 学部 学科 19-02-08 アドバイザー 8 ート パリック 分野A グラテム 分野A	■ shugaku_ (修学カルティン・ 経済学部 国際経営学科 2019-02-08 2019-02-08 こ 2019-32-08 2019-320-08 2019-32-08 2019-08 2019-08 2019-08	_carte_user1 学生1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4年次 学生 水入力 アドバイザー未入力

4. [編集]ボタンを押して、編集を開始します。

Summary	4 年 26						
1年次 🕑	▲千次						
2年次 🕑	編集期間:201	9-02-01 12:	00				
3年次 🕑	更新日時:201	.9-02-08 10:	53:2	25			
4 年次	アドバイザー橋	闌の更新日時:	2019	9-02-08 11:13:3	35		
課外活動 🕝	編集						
	* 自己評価ルーブ!	リック					
		1.全くできて ない	LV	2.あまりできて いない	3.まあできてい る	4.よくできてい る	5.とてもよくで きている
	分野A	まったくわから ない	ò	◆ 基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる
	分野B	◆ まったくわか! ない	6	基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる
	成果物	成果物を提出す きなかった	r	◆ 不完全な成果物 を提出した	成果物を提出し た	テーマに合致し た成果物を提出 した	独創的でテーマ に合致した成果 物を提出した
	(記入日時:2019-0	2-08 10:53:2	25 [伯	§学カルテ学生1])			
	* 振り返	えり	自分	うのペースで取り絲	且みたい。		
			(記.	入日時:2019-02-	08 10:53:25 [修告	ダカルテ学生1])	
	* 教員コン	マント	ŧ	を理解して取り組む	ことなお良いでしょ	う。	

5. 入力が終わったら、[保存]ボタンを押して保存します。

* 自己評価ルーブ!	ノック				
	1.全くできてい ない	2.あまりできて いない	3.まあできてい る	4.よくできてい る	5.とてもよくで きている
分野A	ー まったくわから ない	● ◆ 基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる
分野B	● ◆ まったくわから ない	基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる
成果物	○ 成果物を提出で きなかった	 ◆ 不完全な成果物 を提出した 	○ 成果物を提出し た	ー テーマに合致し た成果物を提出 した	 独創的でテーマ に合致した成果 物を提出した
(記入日時:2019-0	2-08 10:53:25 [修学カルテ学生1])			
* 振り込	2り 自	分のペースで取り	組みたい。		
	(副	2入日時:2019-02-	08 10:53:25 [修	学カルテ学生1])	
* 教員コン	<ント … (証	を理解して取り組ま 己入日時:2019-02-	むとなお良いでしょ 08 11:13:35 [修言	: う。 学カルテアドバイサ	-1])
保存キャ	ンセル				

6. カルテにコメントする



カルテにコメントするには、「担当ユーザーにアドバイスする」権限を持っている必要 があります。

- 1. カルテを登録するの手順通りに、修学カルテ(管理)画面を開きます。
- 2. 画面左に、修学カルテ用に権限設定された組織が表示されます。組織を選んでクリックします。



3. 画面右に以下のような画面が表示されます。カルテを選択します。

	修学カルテ
ロ <u>修学カルテ</u>	カルテ名 必要な資質能力についての自己評価 🕈
	ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を開く
	編集期間設定 表示設定 メッセージ作成 カルテデータエクスポート カルテデータインポート
	表示モード: ② 入力状況確認 🦳 編集期間確認 🔷 表示設定確認
	リスト表示:♥All
	☑ 1年次 ☑ 2年次 ☑ 3年次 ☑ 4年次 ☑ 課外活動
	全1件
	□ ユーザID Li 氏名 ◆ 学部 ◆ 学科 ◆ 学生更新日時 ◆ 教員更新日時 ◆ 11:
	学生
	 shugaku_carte_user1 修学カルテ学生1 経済学部 国際経営学科 2019-02-08 11:20:45 2019-02-08 11:13:35 済

4. 組織でカルテを割り当てられた学生が一覧されています。コメントをつけたい学生を選んでクリックします。

カルテ名 必要な資質能力	りについての自己	評価♦					
ユーザID ワイルドカ	u−ド[*,?]	検索する	詳細検	索を開く			
編集期間設定表	示設定メッ	セージ作成	カルテデ-	-タエクスポート カ	ルテデータインポート		
表示モード: 💿 入力状況確	認 🦳 編集期間	確認 〇 శ	表示設定確認				
リスト表示: √ All ✓ 1年次 ✓ 2年次 ✓ 3	3年次 🔽 4年次	☑ 課外活動	動				
◆1件							
	丘々▲	学 →	⇔約 ▲	⇔⊬ 再 新口 吽 ▲	数号再新口咭 ▲	14	æ.,
	144 ▼	ערד איייב איייב	ታ የት ▼	于工丈利口时 ▼		学生	;
□ shugaku_carte_user1	修学カルテ学生1	経済学部	国際経営学科	2019-02-08 11:20:45	2019-02-08 11:13:35	済	

修学カルテ

5. 学生のカルテが表示されます。カードを選んでクリックします。

<u>修学カルテ</u>	必要な資質能力	コーザ こついての自己評価・ ユーザID	修学カルテ学生1 ♥ 一覧へ戻る shugaku carte user1	
	必要な資質能力に 学生情報	こついての自己評価 ユーザID	shuqaku carte user1	
	学生情報	#ID	shuqaku carte user1	
		ユーザID	shugaku carte user1	
			_	
		氏名	修学カルテ学生1	
		学部	経済学部	
		学科	国際経営学科	
	2年次 3年次 4年次 課外活動で アド/ 自己	学生 2019-02-08 ポイザー2019-02-08 学生 アドバイ 4年次 学生 未入力 パイザー未入力 学生 2019-02-08 ダーチャート 評価ルーブリック 分野A の の の の の の の の の の の の の	2019-02-08 ダー 未入力 1年次 2年次 3年次 4年次 分野B	-08

6. [編集]ボタンを押して、編集を開始します。

Summary	1 年 次									
編集設定	▲午次									
1年次 🕑	編集期間: 2019-02-01 12:00									
2年次 🕑	史新日時: 2019-02-08 10:53:25									
3年次 🕑	アドバイザー欄の更新日時: 2019-02-08 11:13:35									
4年次	編集									
課外活動 🕑	* 自己評価ルーブリック									
		1.全くできてい ない	2.あまりできて いない	3.まあできてい る	4.よくできてい る	5.とてもよくで きている				
	分野A	まったくわから ない	◆ 基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる				
	分野B	◆ まったくわから ない	基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる				
	成果物	成果物を提出で きなかった	◆ 不完全な成果物 を提出した	成果物を提出し た	テーマに合致し た成果物を提出 した	独創的でテーマ に合致した成果 物を提出した				
	(記入日時:2019-02-08 10:53:25 [修学カルテ学生1])									
	* 振り返	[り 白4	うのペースで取り組みたい。							

7. 入力が終わったら、[保存]ボタンを押して保存します。

	1.全くできてい ない	2.あまりできて いない	3.まあできてい る	4.よくできてい る	5.とてもよくで きている				
分野A	まったくわから ない	◆ 基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる				
分野B	◆ まったくわから ない	基礎的なことは 理解している	他者に最低限の 説明ができる	要点をつかんで おり、他者に伝 えることができ る	要点をつかんで おり、広範な知 識をもち、他者 にわかりやすく 伝えることがで きる				
成果物	成果物を提出で きなかった	◆ 不完全な成果物 を提出した	成果物を提出し た	テーマに合致し た成果物を提出 した	独創的でテーマ に合致した成果 物を提出した				
(記入日時:2019-02-08 10:53:25 [修学カルテ学生1])									
* 振り返	えり 自分	自分のペースで取り組みたい。							
	55)	(記入日時:2019-02-08 10:53:25 [修学カルテ学生1])							
* 教員⊐メ	< 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	を理解して取り組むとなお良いでしょう。 // (記入日時:2019-02-08 11:13:35 [修学カルテアドバイザー1])							
保存 キャンセル									

カルテXMLを作成する

修学カルテでは、設定ファイル(XML)を編集することで、入力項目や表示するグラフを自由に変更できます。運用に合わせてカルテ内容をカスタマイズしていくことになります。

ここでは、カルテXMLを作成する方法について解説します。

XMLの基礎

修学カルテは、XMLというフォーマットでカルテの内容を自由に設定できます。事前に知っておきたいこととして、XMLの基礎について説明します。

creating-carte-xml/what-is-xml.pdf



一般的な技術としてのXMLの解説をしています。すでにXMLに馴染みがある場合は 読む必要はありません。

チュートリアル

このチュートリアルでは、カルテを作成する作業がどのようなものかをいちはやく体験してもらいます。

creating-carte-xml/tutorial.pdf

レシピ集

目的別に、カルテXMLを編集するときの典型的なパターンを見ていきます。

creating-carte-xml/recipe.pdf

カルテ**XML**仕様

カルテXMLで可能な設定を全て一覧しています。

creating-carte-xml/xml-definition.pdf

XMLとは何か

XMLファイル

XMLファイルは、テキストファイルの一種です。拡張子は.xmlです。ファイルの内容がXMLというフォーマットで書かれています。

XML

以下はXMLの一例です。

XMLとは何か

```
<people>
<person>
<name>山田 太郎</name>
<age>10</age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
<person>
<name>川上 花子</name>
<age></age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
```

XMLは情報を構造化する表現手法です。XMLはタグ、属性、データで構成されています。次はこれらの要素を説明していきます。

タグ

タグとは、<○○> と </○> のように、<>で囲まれたものを指します。<○○> は開始タグ、</○○> は 終了タグ(スラッシュ「/」がついているかいないかの違い)と呼ばれます。開始タグと終了タグは必ずワン セットになっており、<○○>xx</○○> のように、開始タグと終了タグでxxを囲っています。タグに囲まれ たxxはデータと呼ばれます。

タグはデータの"意味"を表します。例えば <name>山田太郎</name> は、山田太郎 というデータの意味は name、つまり名前であるということです。

<name>山田 太郎</name> <age>10</age> <address>東京都練馬区</address>

このXMLが意味するのは、山田太郎がname(名前)、10がage(年齢)、東京都練馬区がaddress(住所)であるということです。

タグの中にタグを入れることもできます。

```
<person>
<name>山田 太郎</name>
<age>10</age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
```

一行目の <person> が開始タグ、最終行の </person> が終了タグです。このタグの中(データ)には
 <name>、<age>、<address> が入っています。このXMLが意味するのは、nameやageやaddressをデー
 タとして持つperson(個人)である、ということです。わかりやすく言い換えると、山田太郎10歳東京都練

馬区在住の個人が一人いる、となります。

タグはいくらでも入れ子にできます。

```
<people>
<person>
<name>山田 太郎</name>
<age>10</age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
<person>
<name>川上 花子</name>
<age></age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
```

<people> の中に複数の <person> が入っています。

タグ内のデータが空の場合があります。その場合、開始タグを <〇〇/> とすることで終了タグを省略可能です。

<age></age> <!-- データが空のタグ --> <age/> <!-- ↑の省略形 -->

属性

属性は、タグにもうちょっと詳しい情報を付け加えたいときに使います。

```
<people>
<person>
<name language="japanese">山田 太郎</name>
<name language="english">Yamada Taro</name>
<age>10</age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
<person>
<name language="japanese">川上 花子</name>
<age></age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
<age></age>
<address>東京都練馬区</address>
</person>
```

language="japanese" (日本語)ではnameは山田太郎で、 language="english" (英語)ではname
はYamada Taroであるという情報が付加されています。

このようにXMLは、タグ、属性、データを使って情報を構造化します。

XMLは、どんなところで使われているのでしょうか。ネットワークを介した情報のやりとりや、コンピュータ 内で情報を保存する際に、XMLフォーマットを使うことがあります。

タグ名や属性名は誰がどう決めているのでしょうか。実は、タグ名や属性名は、自由に作って使うことがで きます。ただし、コンピュータ同士がXMLを使って情報やりとりする際に、一方が自由に作ったタグや属性 を渡されても、もう一方はその意味を解釈できません。そこで、コンピュータがXMLを扱う際、タグや属性は こういうものを使うよ、それぞれこういう意味だよ、というルールが決められています。そのルールの一つ がHTMLです。また、修学カルテXMLも、決められたタグや属性を使って作成することで、カルテ内に表示 する内容をカスタマイズできるのです。

チュートリアル

このチュートリアルでは、カルテを作成する作業がどのようなものかをいち早く体験してもらいます。以下のステップ通りに読み進めることで、最小限のカルテから始めて、必要なパーツを徐々に付け加えていく 過程を追うことができます。

カルテの構成

最初に、カルテを構成する要素について説明します。

カルテは以下のブロックで構成されます。

・プロフィール

。学生の基本情報を表示します

- ・カード
 - 。カルテごとに定義した入力項目で構成されます
 - 。カードの単位で、表示・非表示や編集の可・不可を設定できます
 - [。]カードは複数用意できます
- ・サマリー
 - 。カードごとの入力状況等を表示します

と情報 プロフィーノ	し編集		
		-#ID	shugaku1
	_	#籍番号	g20170333
	5.5 J	氏名	プロフィール
	~~	学部	12/H 7*BP
		学科	経済学科
次	アドバイザー様の要	「新日時:未)	カ »アドバイザー記入機
	どのような教師になり たいか	未回答	入力項日
	今年次の履修のまとめ	未回答	- A CORREL
	学校教育についての理解	ı	
	【教職の意義】 教職の意義や教員の役(制、職務内容	、子どもに対する責務を理解していますか
	未回答		

以下でそれぞれのブロックを説明します。

プロフィール

学生の学科や氏名などの基本情報が表示されます。内容を学生自身やアドバイザーが編集できます。

学生情報

プロフィール編集	
ユーザID	user1
氏名	user1
写真	プロフィール
学部	経済学部
学科	経済学科

カード

カードは、以下の画面イメージの左側のように、まずタブとして表示されます。

Summary	《前へ Ind	ex 次へ》				
1年次 2年次	1年次		<u>እ</u> :	力項目欄		
3年次 4年次	編集期間: (未設定の 更新日時: 未入力	編集期間: (未設定のため編集不可) 更新日時: 未入力				
課外活動	アドバイザー欄の更	新日時: 未入力				
カード	* 自己評価ルーブリ	ック				
		1.全くできていない	2.あまりできていな い	3.まあできている	4.よくできている	5.とてもよくできて いる
	分野A	まったくわからない	基礎的なことは理解して いる	他者に最低限の説明がで きる	要点をつかんでおり、他 者に伝えることができる	要点をつかんでおり、広 範な知識をもち、他者に わかりやすく伝えること ができる
	分野B	まったくわからない	基礎的なことは理解して いる	他者に最低限の説明がで きる	要点をつかんでおり、他 者に伝えることができる	要点をつかんでおり、広 範な知識をもち、他者に わかりやすく伝えること ができる
	成果物	成果物を提出できなかっ た	不完全な成果物を提出し た	成果物を提出した	テーマに合致した成果物 を提出した	独創的でテーマに合致し た成果物を提出した
	* 振り返り					
	回答なし					
	* アドバイザーコメン	۲ ト				
	回答なし					
	《前へ Ind	ex 次へ》				

タブをクリックすると、カードの内容が表示されます。カードの内容は、カルテごとに定義した入力項目で 構成されます。一つのタブおよびタブをクリックして表示される画面が一つのカードです。

学生や担当教員は、入力項目からデータを入力します。

サマリー

カードごとの入力状況や、カードに入力された情報をレーダーチャート・グラフとして表示します。画面左側のタブの名前として、「Summary」と表示されます。

サマリー	
Summary 1在次	Index
2年次 3年次	
4年次 課外活動	<u>2年次</u> 未入力 未入力(アドパイザー)
	<u>3年次</u> 未入力 未入力(アドバイザー)
	<u>4年次</u> 未入力 未入力(アドパイザー)
	<u>課外活動</u> 未入力
	レーダーチャート
	〇 1 年次 〇 2 年次 〇 1 3年次 〇 4年次
	び 東初 の ままで、 の の の の の の の の の の の の の
	L

空のカルテを用意する

カルテに最低限必要なタグのみ書かれたカルテXMLを用意しました。以下からダウンロードしてください。

空のカルテ.xml

ダウンロードした直後のファイルの内容は以下のようになっています。

Unresolved directive in modules/ROOT/pages/creating-carte-xml/tutorial.adoc include::attachment\$empty-carte.xml[]



以降のステップでは、このカルテXMLに少しづつ必要な要素を足していく形で進めていきます。説明を読んだら、手元のカルテXMLを編集して、修学カルテの管理画面から登録して結果を確認してみてください。カルテXMLを登録する方法はこちらを、その後カルテの内容を確認するにはこちらを確認してください。

カルテのID、カルテ名、並び順

カルテID、カルテ名、並び順を設定する方法を解説します。

カルテXMLの1行目を見てください。

Unresolved directive in modules/ROOT/pages/creating-carte-xml/tutorial.adoc include::attachment\$empty-carte.xml[lines=1]

- id属性は、カルテのIDです。修学カルテに登録する全てのカルテのIDが重複しないように設定する必要があります。
- title属性は、カルテのタイトルです。
- order属性は、カルテの並び順を自然数で指定します。カルテが一覧される画面で、ここで指定した 順番通りにカルテが並ぶことになります。

システム管理者メニューに戻る

修学カルテ

カルテ 設定

ID Choo ^{」」Dに使用} id _{は半角英数字と"}	en "と <u>"_"の</u> title ^{;en}	文字をアルファベッ	新規登録 トにしてください。ID入:	力欄が空の場合(
ID	タイトル	XML		
seminarrubric_2022	<u>ゼミナールカルテ</u>	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除
igaku_dp	<u>ディプロマサプリメント</u>	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除
kango_dp	<u>ディプロマサプリメント</u>	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除
portfolio	<u>学修ポートフォリオ</u>	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除
higher-rinshou-jisshu	臨床実習	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除
teaching-license-course-portfolic	教職履修カルテ	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除
teaching-license-course-portfolic	2 教職履修カルテ 最小構成	<u>»ダウンロード</u>	XMLを変更する	削除

ポートフォリオ カル・名 ✓ 教職履修カルテ 教職履修カルテ 教職履修カルテ 学生情報	カルテの並び ^{ユー} order ^{シst)}	<mark>度</mark> <u>~覧へ戻る</u>
ノロノイール編集		
ユーザID	test	
氏名	山田 太郎	
写真		
学部		
学科		
自由記述欄		
添付ファイル		
エクスポート 自	刷用画面	

- カルテのIDを変更してみましょう
- □ カルテのタイトルを変更してみましょう
- □ カルテを登録して、カルテの内容を確認してみましょう

カード

- カードにはstatic_cardとappendable_cardの2種類があります。
 - ・static_cardは、固定された入力項目を載せるためのカードです。
 - 。例えば「1年次」のような名前のstatic_cardを作り、このカードの中には1年次に記録すべき評価 項目を載せます。
 - [。]対応するタグは <static_card> です。
 - ・appendable_cardは、追記可能な入力項目を載せるためのカードです。
 - 。例えば「資格試験」のような名前のappendable_cardを作り、このカードの中には資格試験を受けるたびにそれを記録していく(いくつでも追記できる)入力項目を載せます。
 - [°]対応するタグは <appendable_card> です

教職履修カルテ 最小構成				
学生情報				
ユーザID)	test		
氏名		山田 太郎		
エクスポート	E	印刷用画面		
Summary 1年次 🕜	1年3	次		
	更新	日時: 未入力		
	保存	字 キャンセル		
	今年》	欠の履修のまとめ		
	学校教	改育についての理解		
			1.全くできていない	2.あまりできて

Figure 9. 学生の画面上で見たカード



Figure 10. カードに対応するXML中のタグ

空のカルテにカードを足してみましょう。以下の <static_card> タグの開始タグから終了タグまでをコピーしてください。

<static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false"> </static_card>

自分のカルテを開き、<cards> タグの直下に、以下のように追加します。

```
<doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ" order="1">
    <doc_template>
        <cards>
            <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
            </static_card>
            </cards>
            </cards>
            </doc_template>
            <field_templates>
            </field_templates>
            </field_templates>
            </doc>
```

```
\mathbf{O}
```

<static_card> や <appendable_card> は必ず <cards> の直下に置きます。

id属性は、カードのIDです。このカルテ中の全てのカードで重複しないように設定する必要があります。

title属性は、カードのタイトルです。

システム管理者メニューに戻る	ۆ	ステム管理者
修学カルテ		<u> 9779 F</u>
カルテ 設定		
	ポートフォリオ	
	カルテ名 [松川のカルテッ] ユーザ [山田 太郎 (test) ッ 次へ 一覧へ戻る	
	松川のカルテ 学生情報 ユーザID test 氏名 山田太郎 エクスポート 印刷用画面 Summary 編集設定 1年次 (2	

edit-protect-setting属性は、学生が入力するためには入力可能な期間を設定する必要があるかどうかを決めます。

- [。]設定できる値はtrueかfalseです。
 - true: アドバイザーや管理者が、学生の入力可能な期間を設定しなければ、学生はこのカードを編集できません。
 - false: 学生はいつでもカードを編集できます。
- この属性を設定しない場合、edit-protect-setting属性でtrueを設定したときと同様の動きになり ます。
 - •動作確認のしやすさのため、チュートリアル中はあえてfalseに設定しておきます。
- □ 自分のカルテに <static_card> (「1年次」カード)を足してみましょう
- □ カルテを登録して、カルテの内容を確認してみましょう。タブに「1年次」が増えていればOKです

[。]登録済みの自分のカルテを更新するには、[XMLを変更する]ボタンを押して、そこからアップロードしてください

システム管理者メニューに戻る		
修学カルテ		
カルテ 設定 ID Choose ¤IDに使用できる文字は半角英数字と"-"と	e File No file chosen ニ"_"のみです。また、先頭の文'	新規登録 字をアルファベットにしてください。ID入力欄が空の場合はdocタグのid属性を使用します。
ID shugaku-carte-handson-matsukawa	タイトル XML 4 松川のカルテ >>ダウンロー	_ XMLを変更する 削除

フィールド

フィールドは、カルテの入力項目です。様々な種類のフィールドがあり、例えばテキスト入力フィールド、ファイルアップロードフィールド、ルーブリック入力フィールド、選択フィールドなどです。

学校教育についての理解					
	1.全くできていない	2.あまりできていない	3.まあできている	4.よくできている	5.とてもよくできている
【教職の意義】	0 1	○ 2	0 3	4	0 5
教職の意義や教員の役 割、職務内容、子どもに 対する責務を理解してい ますか。					
【教育の理念・教育史・ 思想の理解】	0 1	⊖ 2	⊖ 3	O 4	0 5
教育の理念、教育に関す る歴史・思想についての 基礎理論・知識を習得し ていますか。					
【学校教育の社会的・制 度的・経営的理解】	0 1	⊖ 2	⊖ 3	⊖ 4	0 5
学校教育の社会的・制度 的・経営的理解に必要な 基礎理論・知識を習得し ていますか。					

Figure 11. ルーブリック入力フィールドの例



Figure 12. フィールドに対応するXML中のタグ

カルテXMLにフィールドを足してみましょう。以下の <field> をコピーして...

```
<field ref="goal" id="goal" />
```

以下のように、<static_card> 直下に追加します。

```
<doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ" order="1">
    <doc_template>
        <cards>
            <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
                 <field ref="goal" id="goal" />
               </static_card>
            </static_card>
            </cards>
        </doc_template>
        <field_templates>
        </field_templates>
        </field_templates>
        </doc>
```

続いて、以下の <field_template> をコピーして...

```
<field_template edit-auth="self" id="goal" title="今年の目標" type="text" />
```

以下のように、<field_templates> 直下に置きます。

```
<doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ" order="1">
        <doc_template>
        <cards>
            <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
                <field ref="goal" id="goal" />
               </static_card>
            </cards>
            </doc_template>
            <field_templates>
            <field_template edit-auth="self" id="goal" title="今年の目標" type="text"
/>
            </field_templates>
            </field_templates
            </field_templates
            </field_templates
            </field_templates
            </field_templates
```

今回、<field>と <field_template>の2つのタグを足しました。

```
<field ref="goal" id="goal" />
...
<field_template edit-auth="self" id="goal" title="今年の目標" type="text" />
```

<field_template> は、入力フィールドのテンプレートを定義するために使用します。このタグを使用する ことで、ユーザが入力する内容や、入力フィールドの見た目を指定できます。

- ・ edit-auth属性は、このフィールドに入力できるユーザを設定します。
 - [。] "self"、"adviser"、"adviser,self"の3種類から設定できます。
 - self: 学生がこのフィールドに入力できます。
 - adviser: アドバイザーがこのフィールドに入力できます。
 - adviser,self: 学生とアドバイザーの両方がこのフィールドに入力できます。
- id属性は、この <field_template> を別の場所から参照するためにつけるIDです。

。一つのカルテ内で、<field_template>のidが重複しないように設定する必要があります。

・ title属性は、このフィールドのタイトルです。画面に以下のように表示されます。

1年次
編集期間: (未設定のため編集不可) 更新日時: 未入力
今年の目標
回答なし

type属性は、このフィールドの種類を設定します。何を入力できるフィールドになるかがこれで決まります。

[。] "text", "number", "file", "select", "multi-select", "rubric", "date"から設定できます。

- text: テキスト入力
- number: 数值入力
- date: 年月日入力
- file: ファイルアップロード
- select: 単数選択
- rubric: ルーブリック

<field>は、<field_template>で用意したフィールドを、カードのどこに表示するかを決めます。

```
<doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ" order="1">
    <doc_template>
        <cards>
            <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
                 <field ref="goal" id="goal" /> <!--「
1年次」カードの中に「今年の目標」フィールドを配置する -->
                </static_card>
            </cards>
        </doc_template>
        <field_templates>
        <field_template edit-auth="self" id="goal" title="今年の目標" type="text"
/> <!-- ここで「今年の目標」フィールドを定義しておく -->
        </field_templates>
        </field_templates
        </field_templates
        </field_templates
        </field_templates
        </field_templates
        </field_templates
        <//field_templates
        </field_templates
        <//field_templates
        <//field_templates
        <//field_templates
        <//field_templates
```

<field> のref属性の値を、 <field_template> のid属性と一致させることで、 <field> から <field_template> を参照しています。

また、同じ <field_template> を、別の <field> から何度でも参照できます。

```
<doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ" order="1">
 <doc_template>
   <cards>
     <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
       <field ref="goal" id="goal" /> <!-- 1年次に今年の目標を入力する -->
     </static_card>
     <static_card id="grade2" title="2年次" edit-protect-setting="false">
       <field ref="goal" id="goal" /> <!-- 2年次にも今年の目標を入力できる -->
     </static_card>
   </cards>
 </doc_template>
 <field templates>
   <field_template edit-auth="self" id="goal" title="今年の目標" type="text"
/>
 </field templates>
</doc>
```

 <field>のid属性は設定必須です。一つのカード内で、<field>のidが重複しないように設定する 必要があります。 <field> から <field_template> のtitle属性を上書きできます。これを利用して、よく 使うフィールドの形を <field template> として用意しておき、<field> からタイトル だけ変更して使い回すことができます。 <doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ"</pre> order="1"> <doc_template> <cards> <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protectsetting="false"> <field id="self-review" ref="text-field"</pre> title="中間自己評価" /> <field id="outcome" ref="file-field"</pre> title="1年次の成果物" /> <field id="remarks" ref="text-field" title="特記事項" /> </static card> <static_card id="grade2" title="2年次" edit-protectsetting="false"> <field id="self-review" ref="text-field" title="最終自己評価" /> <field id="outcome" ref="file-field" title="2年次の成果物" /> <field id="remarks" ref="text-field" title="特記事項" /> </static card> </cards> </doc template> <field_templates> <field_template id="text-field" title="このタイトルは上書きされます" type="text" edit-auth="self" /> <field_template id="file-field" title="このタイトルは上書きされます" type="file" edit-auth="self" /> </field_templates> </doc>

○ <field_template> と <field> を使って、カード「1年次」に「今年の目標」をテキストで入力できるフ ィールドを追加してみましょう □ カルテを登録して、カルテの内容を確認してみましょう

- 。「1年次」を開いたときに「今年の目標」が表示される
- [。]学生でログインしたとき、「今年の目標」が編集できる

次のステップ

カルテXMLの作り方の基礎をお伝えするチュートリアルは以上です。レシピ集では、目的別にカルテをカ スタマイズする方法を確認できます。また、カルテXML仕様では、カルテXMLで使用可能なタグと属性を 一覧しています。

レシピ集

プロフィール欄にWebClassユーザアカウントの情報を表示する

WebClassユーザアカウントには、プロフィール情報として、学年、学部学科、写真などが登録できます(詳 しくはWebClassシステム管理者マニュアルを参照してください)。 これらをカルテのプロフィール欄に表 示できます。

チュートリアル用カルテ

学生情報

ユーザID	test
氏名	山田 太郎
写真	
ふりがな	
ローマ字	
学年	
性別	
学部	
学科	

プロフィールを表示するXML例が以下です。

```
<doc id="carte" title="カルテ" order="1">
    <doc_template>
        <profile>
        <profile>
        <param name="profile.photo" label="写真" />
        <param name="profile.furigana_name" label="ふりがな" />
        <param name="profile.furigana_roma" label="ローマ字"/>
        <param name="profile.grade" label="学年" list-column="true"/>
        <param name="profile.sex" label="性別"/>
        <param name="profile.faclt" label="学部" list-column="true"/>
        <param name="profile.dept" label="学科" list-column="true"/>
        </profile>
        </doc_template>
    </doc>
```

プロフィール欄は <doc_template> 直下に<profile>を追加することでカスタマイズできます。

name属性に指定する値	表示内容
profile.photo	写真
profile.furigana_name	ふりがな
profile.furigana_roma	名前(ローマ字)
profile.grade	学年
profile.sex	性別
profile.faclt	学部
profile.dept	学科

<param>のname属性で、プロフィールに表示する値を指定します。

なお、プロフィールを編集可能にするには、<param> にedit-auth属性をつけます。

```
<profile>
<param name="profile.photo" label="写真" edit-auth="self" />
</profile>
```

その他 <param> に可能な設定はこちらを参照してください。

プロフィール欄に独自の入力欄を作る

カルテのプロフィール欄に、WebClassユーザアカウントの情報以外の、独自の入力欄を作れます。

カルテ

保存

キャンセル

ユーザID	test
氏名	山田 太郎
1行の入力欄	
複数行入力欄	
ファイルアップロード	参照

プロフィールに独自の入力欄を追加するXML例が以下です。

```
<doc id="carte" title="カルテ" order="1">
 <doc_template>
   <profile>
     <param
       name="custom_profile.comment"
       label="1行の入力欄"
       type="text"
       edit-auth="self"
     />
     <param
       name="custom_profile.comment_textarea"
       label="複数行入力欄"
       type="text"
       form_type="textarea"
       edit-auth="self"
     />
     <param
       name="custom_profile.attach"
       label="ファイルアップロード"
       type="file"
       edit-auth="self"
     />
   </profile>
 </doc_template>
</doc>
```

プロフィール欄は <doc_template> 直下に<profile>を追加することでカスタマイズできます。

<param>の各属性の説明は以下です。

Table	1.	` <param/> `の属性	
-------	----	-----------------	--

属性名	解説
name	入力欄に名前をつけます。必ず custom_profile. から始める必要があり、後半は自由に名付けます。
label	ラベルとして画面上に表示されます。
type	"text"(テキスト入力)か"file"(ファイルアップロード)を選択できます。
form_type	type属性が"text"の際、form_type属性で"text"(入 力できるのは一行になる)か"textarea"(複数行入 力可能)を選択できます。
edit-auth	このプロフィール欄を編集可能なユーザを設定し ます。"self" (学生自身が編集できる) "adviser" (ア ドバイザーが編集できる)、"adviser,self" (学生とア ドバイザー両方が編集できる) から選択できます。

不定期に記録する入力欄を設ける

例えば学習成果物を何度もアップロードしたいが履歴は残したかったり、課外活動の記録を何度も残していきたい、そのための入力項目を用意したいとします。そんなときは<appendable_card>を使います。

カルテ

学生情報				
ユーザID test		test		
氏名		山田 太郎		
エクスポート	Ē	印刷用画面		
Summary	ct; 88	1 4/2		
成果物 🕑	成未	E 192		
	更新	日時: 2022-12-26 14:41:17		
	編集 検索			
		成果物	更新日時	
	⇒成果	物 1回目.pdf	2022-12-26 14:40:58 山田 太郎	
	⇒成果	<u>物 2回目.pdf</u>	2022-12-26 14:41:17 山田 太郎	
	編集	ŧ.		

成果物をいくつも登録可能な入力項目を設置する例

```
<doc id="carte" title="カルテ" order="1">
  <doc template>
    <cards>
      (1)
      <appendable_card
        id="contents"
       title="成果物"
        append-auth="self"
        edit-protect-setting="false"
       >
        <field id="contents" ref="contents"/>
      </appendable_card>
    </cards>
  </doc_template>
  <field_templates>
    (2)
    <field_template
      id="contents"
      type="file"
      title="成果物"
      edit-auth="self"
    />
  </field_templates>
</doc>
```

① <appendable_card> のappend-auth属性は、回答の追加と削除が可能なユーザを設定します。

② <field_template> のedit-auth属性は、一度保存された回答を編集可能なユーザを設定します。

また、学生が複数回入力して溜まった回答を、カテゴリごとに分類して表示できます。

カルテ

学生情報				
ユーザロ)	test		
氏名		山田 太郎		
エクスポート		印刷用画面		
ummary	課夕	Ւ活動		
以外活動 ☑	更新	行日時: 2022-1	2-26 15:19:29	
	新	規登録		
	力	テゴリ		
		回答なし		~
	活	動内容詳細		
		保存	キャンセル	
		_		ソート: 更新日時 🔷 🌾 🏹
	検索	夕 川,朝	カテゴリ	
	ッー 活(1) ポラ	シル・品) ンティア	サークル・部活	
	(1) その	他(0)	(2022-12-26 15:19:14 [山田 太郎])	
		12(0)	活動内容詳細	
			サークル・部活動の内容	
			(2022-12-26 15:19:14 [山田 太郎])	

画面下に、登録済み回答がカテゴリごとに分類されています。

このようなレイアウトに切り替えるには、<appendable_card> にlayout属性をつけ、"categorized"としま す。また、category-field-id属性で、分類する基準とする <field> のid属性を指定します。例えば以下のよ うになります:

```
<doc id="carte" title="カルテ" order="1">
 <doc_template>
   <cards>
     <appendable_card
       id="contents"
       title="課外活動"
       append-auth="self"
       edit-protect-setting="false"
       layout="categorized"
       category-field-id="category"
     >
       <field id="category" ref="category"/>
       <field id="description" ref="description"/>
     </appendable_card>
   </cards>
 </doc_template>
 <field_templates>
   <field template
     id="description"
     type="text"
     title="活動内容詳細"
     edit-auth="self"
   />
   <field template
     id="category"
     type="select"
     title="カテゴリ"
     edit-auth="self"
   >
     <option value="サークル・部活">サークル・部活</option>
     <option value="ボランティア">ボランティア</option>
     <option value="その他">その他</option>
   </field_template>
 </field_templates>
</doc>
```

テキスト入力欄を作る

以下のようなテキスト入力欄を作ります。複数行入力可能な欄と、1行のみ入力可能な欄の2つのタイプ があります。

Summary						
編集設定	1 午 八					
1年次 🕑	更新日時: 未入力					
	アドバイザー欄の更新日時: 未入力					
	保存 キャンセル					
	テキスト入力欄(複数行入力可能)					
	テキスト入力欄(一行入力可能)					
	保存 キャンセル					

```
<doc id="shugaku-carte-tutorial" title="チュートリアル用カルテ" order="1">
   <doc_template>
       <cards>
           <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-
setting="false">
               <field id="textarea" ref="textarea" />
               <field id="text" ref="text" />
           </static card>
       </cards>
   </doc_template>
   <field_templates>
       <field_template id="textarea" type="text"
title="テキスト入力欄(複数行入力可能)" edit-auth="adviser, self" />
       <field_template id="text" type="text" form_type="text"
title="テキスト入力欄(一行入力可能)" edit-auth="adviser, self" />
   </field_templates>
</doc>
```

<field_template> のform_type属性で "textarea" を指定するか、form_type属性を設定しない場合 は、複数行入力可能なテキスト入力欄になります。form_type属性で "text" を指定すると、1行のみ入力 可能なテキスト入力欄になります。

ルーブリックによる入力欄を作る

各観点ごとに評価するため、ルーブリックによる入力欄を用意します。

教職履修カルテ

学生情報							
ユーザID test							
氏名	山田 太郎						
エクスポート	印刷用画面						
Summary	• 左 次						
1年次 🕜	1年次	Calaberra de	and a state of the				
	更新日時: 未入力		ate> title 唐 住				
	保存 キャンセル			www.ukawilaka.a.alawa			
	学校教育についての理解	<rubric_header></rubric_header>					
<dimensi< th=""><td>ion></td><td>1.全くできていない</td><td>2.あまりできていない</td><td>3.まあできている</td><td>4.よくできている</td><td>5.とてもよくできている</td></dimensi<>	ion>	1.全くできていない	2.あまりできていない	3.まあできている	4.よくできている	5.とてもよくできている	
	教職の意義	0	2	() 3	0 4	0	
	教職の意義や教員の役割、職務 内容、子どもに対する責務を理 解していますか。						
	教育の理念・教育史・思想の理 解	0 1	0 2	0 3	0 4	0 5	
	教育の理念、教育に関する歴 史・思想についての基礎理論・ 知識を習得していますか。						
	保存 キャンセル						

```
<doc id="teaching-carte" title="教職履修カルテ" order="1">
  <doc_template>
   <cards>
     <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
       <field id="understanding" ref="understanding"/>
     </static card>
   </cards>
  </doc_template>
  <field_templates>
   <field_template id="understanding" type="rubric"</pre>
title="学校教育についての理解" edit-auth="self">
     <rubric>
       (1)
       <rubric_header>
         <level value="1">全くできていない</level>
         <level value="2">あまりできていない</level>
         <level value="3">まあできている</level>
         <level value="4">よくできている</level>
         <level value="5">とてもよくできている</level>
       </rubric_header>
       (2)
       <dimension
         id="dimension1"
         title="教職の意義"
description="教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか
•
       >
         3
         <option level="1">1</option>
         <option level="2">2</option>
```

<pre><option level="3">3</option></pre>	
<option level="4">4</option>	
<pre><option level="5">5</option></pre>	
<dimension< th=""><th></th></dimension<>	
id="dimension2"	
title="教育の理念·教育史·思想の理解"	
description="教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を	を習得してい
ますか。"	
>	
<option level="1">1</option>	
<option level="2">2</option>	
<option level="3">3</option>	
<option level="4">4</option>	
<option level="5">5</option>	

① <rubric_header> によって表のヘッダに表示するテキストを設定します。

② <dimension> は表の各行の内容を指定します。

③ <option> のlevel属性は、<rubric_header> > <level> で指定した value属性と対応しています。

各評価基準のセル内に説明文を入れる

各評価基準のセル内に説明文を入れたいときは、<option>タグの中に記述します。



[[br]]で改行します。[[u]] [[/u]]で下線を引きます。[[b]] [[/b]]"で強調します。

Summary	1年次								
編集設定									
1年次 🕑	更新日時: 未入力								
	学校教育についての理解								
		1.全くできていない	2.あまりできていない	3.まあできている	4.よくできている	5.とてもよくできている			
	教職の意義	ここに説明文を 記述します	ここに <u>説明文</u> を記述します	ここに 説明文 を記述します	ここに説明文を記述します	ここに説明文を記述します			
	教職の意義や教員の役 割、職務内容、子どもに 対する責務を理解してい ますか。								
	教育の理念・教育史・思 想の理解 教育の理念、教育に関す る歴史・思想についての 基礎理論・知識を習得し ていますか。	全くできていない	あまりできていない	まあできている	よくできている	とてもよくできている			

```
<doc id="teaching-carte" title="教職履修カルテ" order="1">
 <doc_template>
   <cards>
     <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
       <field id="understanding" ref="understanding"/>
     </static card>
   </cards>
 </doc template>
 <field_templates>
     <field_template id="understanding" type="rubric"
title="学校教育についての理解" edit-auth="self">
       <rubric>
       <rubric header>
        <level value="1">全くできていない</level>
        <level value="2">あまりできていない</level>
        <level value="3">まあできている</level>
        <level value="4">よくできている</level>
        <level value="5">とてもよくできている</level>
       </rubric header>
       <dimension id="dimension1" title="教職の意義"
description="教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか
。">
        <option level="1">ここに説明文を[[br]]記述します</option>
        <option level="2">ここに[[u]]説明文[[/u]]を記述します</option>
        <option level="3">ここに[[b]]説明文[[/b]]を記述します</option>
        <option level="4">ここに説明文を記述します</option>
        <option level="5">ここに説明文を記述します</option>
       </dimension>
       <dimension id="dimension2" title="教育の理念·教育史·思想の理解"
description="教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得してい
ますか。">
        <option level="1">全くできていない</option>
        <option level="2">あまりできていない</option>
        <option level="3">まあできている</option>
        <option level="4">よくできている</option>
        <option level="5">とてもよくできている</option>
       </dimension>
       </rubric>
     </field template>
 </field_templates>
</doc>
```

ルーブリックの回答をレーダーチャートに表示する

カルテにルーブリックの入力項目があれば、Summaryに自動的にレーダーチャートが表示されます。 このレーダーチャートの軸や系列は各カードのfieldのidによって決まります。 このレシピではよくあるグラフ表示のパターンを解説します。 レーダーチャートの軸や系列を手動で設定する場合は、カルテXML仕様の<radar>を参照ください。

年度ごとにカードを作成し、同じルーブリックで定期的に自己評価をさせる

同じルーブリックで毎年自己評価を付け、一つのレーダーチャートで変化を比較するパターンです。 各カードのfieldのidが同じならば一つのレーダーチャートとして表示されます。



自己評価ルーブリックA



分野ごとにカードを作成し、別々のルーブリックで分野ごとに自己評価させる

分野ごとに自己評価を付け、別々のレーダーチャートとして全体を見渡せるようにするパターンです。 各カードのfieldのidが異なるなら別々のレーダーチャートとして表示されます。

```
<cards>
<static_card id="area1" title="分野1">
<field id="rubric_1" title="分野1の自己評価" ref="rubric_a" />
</static_card>
<static_card id="area2" title="分野2">
<field id="rubric_2" title="分野2の自己評価" ref="rubric_a" />
</static_card>
<static_card id="area3" title="分野3">
<field id="rubric_3" title="分野3の自己評価" ref="rubric_b" />
</static_card>
</cards>
```

分野1の自己評価





分野2の自己評価





分野3の自己評価





カルテの中に説明文を追加する

カルテ内に、入力項目とは別に、説明文などを入れたいときがあります。<markdown>を使うことで、任意の場所に文章を挿入できます。

カルテ

学生情報									
ユーザID		test							
氏名		山田 太郎							
エクスポート	印	刷用画面							
Summary	• • •	_							
1年次 🕑	1年次								
	更新E]時: 未入力							
	このカルテを書く上での注意書きなど								
	今年の目標								
	回答なし								
	<markd< td=""><td>own>内では以</td><td>下のように書</td><th>くことで、文を</th><td>修飾すること</td><td>こができます。</td><th></th><td></td><td></td></markd<>	own>内では以	下のように書	くことで、文を	修飾すること	こができます。			
	文字を引	鎖調する ことが [、]	できます。					•	
	<u>リンクを埋め込む</u> ことができます。								
	以下のように表を書けます。								
	列1	列2	列3						
	行1列	1 行1列2	行1列3						
	行2列	1 行2列2	行2列3						

<markdown>を使った例:

```
<doc id="carte" title="カルテ" order="1">
 <doc_template>
   <cards>
     <static_card id="grade1" title="1年次" edit-protect-setting="false">
      <markdown>このカルテを書く上での注意書きなど</markdown> ①
      <field ref="goal" id="goal" />
      <markdown> (2)
      8lt;markdown>内では以下のように書くことで、文を修飾できます。
      文字を**強調する**ことができます。
      [リンクを埋め込む](http://example.com/)ことができます。
      以下のように表を書けます。
      |列1|列2|列3|
       |----|
       | 行1列1 | 行1列2 | 行1列3 |
      | 行2列1 | 行2列2 | 行2列3 |
      </markdown>
     </static card>
   </cards>
 </doc_template>
 <field templates>
   <field_template edit-auth="self" id="goal" title="今年の目標" type="text"
/>
 </field templates>
</doc>
```

① <markdown> 内では、自由にテキストを書けます。

② 二つ目の <markdown> 内では、Markdown記法を利用しています。

<markdown>は <static_card> <appendable_card>の直下で使用できます。

<markdown> 内では、普通のテキスト以外に、Markdownと呼ばれる記法を利用できます。Markdown記 法を使うと、画面に表示される文を修飾できます。上のカルテXML例と画面表示例を見比べてみてください。 Markdown記法の詳細は、カルテXML仕様を確認してください。

カルテデータ エクスポート/インポート

修学カルテで定義した任意のデータ項目(ユーザのプロフィール情報や取得資格、TOEICの点数など) について、学生や指導教員が入力したデータを、CSVファイルでエクスポートしたり、インポートしたりする ことができます。



カルテデータをエクスポート/インポートするには、「担当ユーザーにアドバイスする」権 限を持っている必要があります。

エクスポート

以下の手順で、カルテデータをエクスポートできます。

- 1. カルテを登録するの手順通りに、修学カルテ(管理)画面を開きます。
- 2. 画面左に、修学カルテ用に権限設定された組織が表示されます。組織を選んでクリックします。



3. 画面右に以下のような画面が表示されます。カルテを選択します。

	修学カルテ									
ロ <u>修学カルテ</u>	カルテ名 必要な資質能力についての自己評価 🗘	カルテ名 必要な資質能力についての自己評価 ・								
	ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を開く	ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を開く								
編集期間設定 表示設定 メッセージ作成 カルテデータエクスポート カルテデータイ										
	表示モード: 〇入力状況確認 🦳 編集期間確認 🔷 表示設定確認									
	リスト表示: IZAII I 年次 I 2年次 I 3年次 I 4年次 I 課外活動									
	全1件									
	ユーザID 上 氏名 ◆ 学部 ◆ 学科 ◆ 学生更新日時 ◆ 教員更新日時 ◆	14								
	- 11日 - 1	生								
	□ shugaku_carte_user1 修学カルテ学生1 経済学部 国際経営学科 2019-02-08 11:20:45 2019-02-08 11:13:35 済									

「カルテデータエクスポート」ボタンをクリックするとエクスポートフォームが表示されます。
 出力するユーザを「検索結果の全員」か「チェックボックスで選択」のいずれかから選択可能です。

カルテ名 必要な資質能力についての自己評価										
ユーザID * ? ワイルドカード使用可 検索する 詳細検索を開く										
編集期間設定 表示設定 メッセージ作成 カルテデータエクスポート カルテデータインポート										
表示モー	表示モード: ● 入力状況確認 ○編集期間確認 ○表示設 ○検索結果の全員 ● チェックボックスで選択									
リスト表対	3人が対象です リスト表示:☑AII									
☑ 1年	✓ 1年次 ✓ 2年次 ✓ 3年次 ✓ 4年次 ✓ 5年次 ✓ 6 エクスポートファイルを生成する									
全5263件 《最初 前へ <u>次へ 最後》</u> ┃ <u>1234</u> … <u>106</u>										
ש-ב 🗆	ID 🛓	氏名♦	学部♦	学科♦	学生更新日時♥	アドバイザー更新日時	1	年次	2	年次
							学生	アドバイザー	学生	アドバイザー
✓ <u>11111</u>	<u>111 –</u>	<u>单生1</u>					未	未	未	未
22222	222 学	[≜] 生2					未	未	未	未
✓ <u>33333</u>	333 🛱	<u>≜生3</u>					未	未	未	未
<u>44444</u>	444 - 学	≜生4					未	未	未	未
055555	555 🛱	≜生5					未	未	未	未

5. ファイルを含むかどうかを選択して「エクスポートファイルを生成する」をクリックするとCSVがエクス ポートできます。

カルテデータエクスポート	カルテデータインポート
- 	ポックスで選択
2. 3人が対象です	
6 TD7#-57z4u&4	成する
	m. 9 2 M

インポート

以下の手順で、カルテデータをインポートできます。

- 1. カルテを登録するの手順通りに、修学カルテ(管理)画面を開きます。
- 2. 画面左に、修学カルテ用に権限設定された組織が表示されます。組織を選んでクリックします。



3. 画面右に以下のような画面が表示されます。カルテを選択します。

	修学カルテ									
ロ <u>修学カルテ</u>	カルテ名 必要な資質能力についての自己評価 ・									
	ユーザID ワイルドカード[*,?] 検索する 詳細検索を開く									
	編集期間設定 表示設定 メッセージ作成 カルテデータエクスポート カルテデータインポート									
	表示モード: 〇入力状況確認 🦳 編集期間確認 🖳 表示設定確認									
	リスト表示:愛All 愛 1年次 愛 2年次 愛 3年次 愛 4年次 愛 課外活動									
	全1件									
	ユーザID L 氏名 ◆ 学部 ◆ 学科 ◆ 学生更新日時 ◆ 教員更新日時 ◆ 1年									
	学生 ************************************									
	□ shugaku_carte_user1 修学カルテ学生1 経済学部 国際経営学科 2019-02-08 11:20:45 2019-02-08 11:13:35 済									

4. 「カルテデータインポート」ボタンをクリックするとインポートフォームが表示されます。

カルテ名 必要な資質能力についての自己評価							
ユーザiD * ? ワイルドカード使用可 検索する 詳細検索を開く							
編集期間設定 表示設定 メッセージ作成 カルテデータエクスポート	カルテデータインボート 左のフォームからカルテデータをエクスポートし、 static_cards.csvを編集してアップロードしてください。 ファイルをアップロードする場合は、CSVの中で取り込むファ						
表示モード:							
リスト表示・☑All	イル名を指定し、						
☑ 1年次 ☑ 2年次 ☑ 3年次 ☑ 4年次 ☑ 5年次 ☑ 6年次 ☑ 7年次 ☑ 8年次	すべてのファイルとCSVを、ひとつのZIPにまとめてください。						
	※追記式のカルテはインポートできません。						
全5263件 ≪最初前へ 次へ 最後≫ 1234…106	ファイルの選択ファイルが選択されていません						
□ ユーザID 1 氏名 ◆ 学部 ◆ 学科 ◆ 学生更新日時 ◆ アドバイザー更新日時 ◆	一括登録する						
□ 11111111 学生1							
2222222222 堂生2	* * * * * *						

5. CSVあるいはCSVを含んだZIPファイルをアップロードし、「一括登録する」ボタンをクリックするとイン ポートできます。

カルテデータインポート

左のフォームからカルテデータをエクスポートし、 static_cards.csvを編集してアップロードしてください。 ファイルをアップロードする場合は、CSVの中で取り込むファ イル名を指定し、 すべてのファイルとCSVを、ひとつのZIPにまとめてください。 日本語のファイル名には対応していません。 ※追記式のカルテはインポートできません。

ファイルの選択 static_cards.csv

日 一括登録する



インポート機能では、アドバイザーが画面から編集可能な項目のみ更新可能です。学 生の入力欄は更新されません。 カルテXMLで学生の入力欄として定義したものを、 一時的にアドバイザーの入力欄へと変えることで、インポートにより更新することが可 能です。



インポート時、CSVに含まれている列のみ更新されます。更新の必要のない列は削除 してインポートすることで、誤って上書きすることを防ぐことができます。



カルテXMLで設定することでWebClassのプロフィールデータを修学カルテ上で表示 することが可能ですが、この項目はインポートの対象外です。WebClassシステム管理 者がユーザ管理画面からCSVで一括更新することができます。

外部公開URL

外部公開URLは、WebClassのアカウントのない方へ、修学カルテの内容をパスワード付きで公開する機能です。 外部公開URLは、学生本人が画面から公開することも、管理者がCSVで一括して公開することもできます。

- ・ 学生が外部公開する
- 管理者が外部公開する

外部公開URLを有効化するには、カルテのXMLごとに有効化の設定が必要です。



外部公開URL有効化の方法については 外部公開の事前準備をご参照ください。

外部公開されたカルテ

外部公開URLにアクセスすると次のように、外部ユーザーログイン画面が表示されます。タイトルにはカ ルテ名が表示されます。



外部ユーザには指定したカードのみ表示されます。外部ユーザ用の入力欄を作成できます。
臨床実習 外部公開		<u>ወグアウト</u>
臨床実習		
学生情報		
ユーザロ	user1	
氏名	学生1	
写真		
ローテーション1 _{更新日時: 未入力}		
マドバイザー欄の再新日時	. = 1 +	
保存キャンセル		
記入者		
日本DP太郎		
診療科		
小児科		~

学生が外部公開する

外部公開可能であるようにXMLに設定されているとき、学生の画面に外部公開URLの設定フォームが 表示されます。

詳しい設定方法は、以下をご参照ください。

学生が外部公開する

Summary	《前へ	Index	次へ》					
□-テ-ション1 🗷								
ローテーション2 🗷	ローテー	ション1						
ローテーション3 🗷	更新日時	更新日時: 未入力						
ローテーション4 🗷	アドバイザ-	アドバイザー欄の更新日時: 未入力						
ローテーション5 🕼			*///					
ローテーション6 🗷	外部公開	設定外部公開	ŧ					
ローテーション7 🗷	編集	0						

管理者が外部公開URLの一括設定する

外部公開可能であるようにXMLに設定されているとき、外部公開URL設定権限を持っていると、一覧画 面に [外部公開URL新規作成] と [外部公開URL確認・更新] が表示されます 詳しい設定方法は、以下をご参照ください。

管理者が外部公開する

カルテ名 テスト用ポートフォリオ	▶ カルテ	没定			
ユーザID [*] ? ワイルドカード使用	同検索する	詳細検索を開く			
編集期間設定表示設定	メッセージ作成	カルテデータエクスポート			
<u>外部公開URL新規作成</u> <u>外部公開URL確認・更新</u> 加 表示モード・					

カルテ**XML**仕様

カルテ**XML**仕様

カルテの基本構造を定義するタグの仕様

ここではカルテの基本構造を定義するタグについて説明します。

<doc>

ルートのタグです。

名称	必須	詳細
title	必須	値:任意のテキスト 説明:カルテの名称
order	必須	値:正の整数 説明:カルテをリストしたときの表示順序
print		値:"true","false" 説明:印刷画面の有効無効を切り替えられます。デフォルト は"true"です。
export		値:"true","false" 説明:htmlエクスポート機能の有効無効を切り替えられます。デ フォルトは"true"です。
allow-external-login		値:"true","false" 説明:"true"にすると、このカルテで外部公開機能が使用できる ようになります。デフォルトは"false"です。また、 <doc>タグだけ ではなく公開を許可する各カードについてもallow-external- login属性を"true"にする必要があります。</doc>
link-top-page-to-my-page		値:"true","false" 説明: 学生のトップ画面に、このカルテへのリンクを表示するか 切り替えられます。デフォルトは"true"です。 この設定はあくまでリンクの表示を切り替えるだけで、"false"の 状態でも URL を知っていればアクセスできます。 アクセスを禁止したいときは、各カードの表示設定を不可にして ください。

名称	必須	詳細
my-page-menu		値:"true","false" 説明: 学生がMyPageを開いたときに、このカルテへのリンクを メニューに表示するか切り替えられます。デフォルトは"true"で す。 この設定はあくまでリンクの表示を切り替えるだけで、"false"の 状態でも URL を知っていればアクセスできます。 アクセスを禁止したいときは、各カードの表示設定を不可にして ください。

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<field_templates></field_templates>	必須	1つ のみ	すべての入力項目の定義を並べます
<doc_template></doc_template>	必須	1つ のみ	タブの数や内容の設定を記述します

<doc_template>

属性

なし

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<profile></profile>	必須	1つ のみ	プロフィールに表示する項目を記述します
<cards></cards>		1つ のみ	カードの数と内容を記述します
<summary></summary>		1つ のみ	Summaryタブに表示する内容の設定を記述します。
<before_cards></before_cards>		1つ のみ	カードの前に表示する説明文を記述します。

<field_templates>

入力項目の定義が並びます

属性

なし

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<field_template></field_template>	必須	1つ 以上	入力項目の定義を記述します

<cards>

カードの数と内容を定義します

属性

なし

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<static_card></static_card>		任意 の数	固定されたカードの内容を記述します
<appendable_card></appendable_card>		任意 の数	追記可能なカードの内容を記述します

入力項目を定義するタグの仕様

<field_template>

入力項目の定義を記述します。このタグは <field_templates>タグの中に定義しなければなりません。

属性

名称	必須	詳細
id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明: <field_template>を一意に指定するためのIDです。同 じcard下に含まれる<field_template>間でユニークである必要 があります。主に<field>のrefから参照されます。IDに使用できる 文字は半角英数字と"-"と"_"のみです。また、アルファベットから 開始する必要があります。</field></field_template></field_template>

名称	必須	詳細
type	必須	値:"text", "number", "file", "select","multi-select", "rubric", "date" 説明:fieldの種類です。詳しくは下記
title	必須	値:任意 説明:入力項目に表示されるタイトルです。
edit-auth	必須	値:"self","adviser","adviser,self", "external" 説明:編集可能なユーザーを設定します。"self"にすると学生本 人が編集可能です。"adviser"にするとアドバイザーが編集可能 です。"external"にすると外部公開者が編集可能です。
form_type		説明: 入力フォームの形式を変更できるtypeがあります。詳しく は下記
tips		値:任意文字 説明:入力項目の入力書式など、注意書きとして表示されます。
require		値:"true","false" 説明:require="true"と記述すると必須項目になります。 入力内容を保存するときに、必須項目が未入力であれば確認ダ イアログが表示されます。 また、カルテー覧での「済」「未」の表示について、通常はすべて の項目が入力されているときに「済」になりますが、 必須項目が設定されている場合は、必須項目がすべて埋まって いる場合に「済」になります。
show-modified-info		値:"true","false" 説明:"false"に設定すると更新日時が表示されなくなります。
preview		値:"true","false" 説明:typeがfileのときに使用できます。アップロードされたファイ ルがPDFか画像ならプレビューを表示します。
preview-height		値:"200px"など CSSで設定できる値 説明:previewがtrueのときに使用できます。プレビューの高さを 設定します。
max	必須	値:"数値" 説明:typeがnumberのとき、必須項目です。項目の最大値を設 定します。
min	必須	値:"数値" 説明:typeがnumberのとき、必須項目です。項目の最小値を設 定します。
float		値:"true","false" 説明:typeがnumberのときに使用できます。項目に小数を入力 可能にします。デフォルトは"false"です。

名称	必須	詳細
parent-field-id		値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:typeがselectのときに使用できます。親カテゴリになる < <mark>field</mark> > のidを指定します。
show-title		値:"true","false" 説明:"false"に設定するとタイトルが表示されなくなります。デフ ォルトは"true"です。
protect-from-other		値:"true","false" 説明:"true"に設定すると一度入力したら本人以外が画面から 上書きできなくなります。CSVインポートによる更新は可能で す。CSVインポートで空の値に戻すと他の人が更新できます。
notification		値:"true","false" 説明: "true"、に設定した入力項目を学生が更新したときに、更 新通知の対象ユーザーにWebClassのメッセージを送信します。 WebClass管理画面の「メール機能設定」から「メール機能許 可」が「使用許可」に設定されている場合は他のメッセージと同 様にメールで転送されます。 - 更新通知の対象ユーザーは、更新通知の対象組織に直接所 属し、「担当ユーザーにアドバイスする」権限を持っているユーザ です。- 更新通知の対象組織とは、更新したユーザーが直接所 属しており、更新したカルテが登録されている組織(祖先組織か ら継承したカルテを含む)です。- 祖先組織のユーザが対象でな いのは、事務職員や学部長にメッセージを飛ばさないためです。
title-font-color		値:任意のテキスト 説明: タイトルの文字色が指定した色に固定されます。「red」 や「#ff0000」 のようにcssで有効な色の値を設定できます。
title-background-color		値:任意のテキスト 説明: タイトルの背景色が指定した色に固定されます。
rows		値:自然数 説明: デフォルト値は4。 テキストエリアの行数の初期値を設定 します。 form_type="textarea"のときのみ有効です。
hide-empty-state-label		値:"true","false" 説明: デフォルト値は"false"。 "false"のときは、未入力時に「回答なし」と各入力欄に表示され ます。 "true"のときは、単なる空欄になります。

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<option></option>		任意 の数	「type属性がselect」または「type属性がmulti-select」また は「type属性がtextかつform_type属性がtext」の時のみ記 述できます。
<rubric></rubric>		1つ のみ	type属性がrubricの時のみ記述できます。

type属性

次の八種類があります。

text	記述 式	
number	数値	
date	年月 日	
file	ファ イル	
select	単数 選択	<field>タグ内の<option>タグに選択肢を記述します。</option></field>
multi-select	複数 選択	<field>タグ内の<option>タグに選択肢を記述します。</option></field>
rubric	ルー ブリ ック	<field>タグ内の<rubric>タグに表の設定を記述します。詳しくは 下記。</rubric></field>
title	タイ トル	入力フォームでなくテキストです。title属性の値が表示されます。

form_type属性

form_type属性に指定可能な値は、type属性の値によって変わります。 対応関係は次の通りです。

type の値	form_type のデフ ォルト値	form_type に指定 可能な値	詳細
text	textarea	text textarea	text は1行の入力欄になります。 textarea は複数行の入力欄になりま す。

type の値	form_type のデフ ォルト値	form_type に指定 可能な値	詳細
rubric	rubric	rubric dropdown	dropdown を選択するとドロップダウンで 選択する形式になります。
select	selectbox	selectbox checkbox checklist	selectbox は、ドロップダウンで選択する 形式になります。 checkbox は、ラジオボタンで選択する形 式になります。 checklist は、チェックリストを埋める形 式になります。
multi-select	checkbox	selectbox checkbox checklist	同上

<option>

- type属性がselectあるいはmulti-selectのときは、optionの値が選択肢として反映されます。
- type属性がtextのときは、optionの値が入力候補として反映されます。

属性

名称	必須	詳細
value	必須	値:任意文字 説明: type属性がselectあるいはmulti-selectのとき実際に保存 する値です。type属性がtextのときは入力候補として表示されま す。
parent-value	必須	値:任意文字 説明:` <field_template>` で parent-field-id が指定されてい るときに使用できます。親カテゴリの値を指定します。</field_template>

テキスト

- type属性がselectあるいはmulti-selectのときは、<option>タグ内のテキストがラベルとして表示されます。
- type属性がtextのときは無効です。

記述例

```
<field_templates>
<field_template id="grade" type="select" title="学年" edit-
auth="self,adviser">
  <option value="1">1年</option>
  <option value="2">2年</option>
  <option value="3">3年</option>
  <option value="4">4年</option>
</field_template>
<field_template id="category" type="text" form_type="text" title="活動種別"
edit-auth="self,adviser">
  <option value="ボランティア" />
  <option value="委員会" />
  <option value="クラブ" />
</field_template>
<field_template id="parent" title="親カテゴリ" type="select" edit-
auth="self,adviser">
  <option value="動物">動物</option>
  <option value="植物">植物</option>
  <option value="菌類">菌類</option>
</field_template>
<field_template id="child" parent-field-id="parent" title="子項目"
type="select" edit-auth="self,adviser">
  <option parent-value="動物" value="クマ">クマ</option>
  <option parent-value="動物" value="ネコ">ネコ</option>
  <option parent-value="動物" value="タヌキ">タヌキ</option>
  <option parent-value="植物" value="ヒノキ">ヒノキ</option>
  <option parent-value="植物" value="スギ">スギ</option>
  <option parent-value="植物" value="タケ">タケ</option>
  <option parent-value="菌類" value="シイタケ">シイタケ</option>
  <option parent-value="菌類" value="エノキ">エノキ</option>
  <option parent-value="菌類" value="コウジカビ">コウジカビ</option>
</field template>
</field_templates>
```

<rubric>

<rubric_header>によって表のヘッダに表示するテキストを設定します。 <dimension>は表の各行の内容を指定します。 ルーブリックに学生が入力するとき、<dimension>のid属性と紐付いて値が保存されます。 <dimension>内の<option>のデータでは表のセルの内容を指定します。 <dimension>のdefault属性で初期値を設定できます。

記述例

```
<field_template id="cook" type="rubric" title="調理実践" >
 <rubric>
   <rubric_header>
     <level value="0"/>
     <level value="1"/>
     <level value="2"/>
     <level value="3"/>
     <level value="4"/>
   </rubric header>
   <dimension id="cut" title="切る" description="切り方の習熟度合を評価します"
default="2">
     <option level="0">まったくできなかった</option>
     <option level="1">あまりできなかった</option>
     <option level="2">ふつう</option>
     <option level="3">少しできた</option>
     <option level="4">よくできた</option>
   </dimension>
   <dimension id="stew" title="煮る" description="煮方の習熟度合を評価します">
     <option level="0">まったくできなかった</option>
     <option level="1">あまりできなかった</option>
     <option level="2">ふつう</option>
     <option level="3">少しできた</option>
     <option level="4">よくできた</option>
   </dimension>
   <dimension id="grill" title="焼く" description="
焼き方の習熟度合を評価します">
     <option level="0">まったくできなかった</option>
     <option level="1">あまりできなかった</option>
     <option level="2">ふつう</option>
     <option level="3">少しできた</option>
     <option level="4">よくできた</option>
   </dimension>
 </rubric>
</field_template>
```

プロフィールを定義するタグの仕様

カルテに対応付ける学生プロフィール情報を定義します。

	ユーザID	shugaku1	
	氏名	shugaku1	
	ふりがな	ゆーざー1	
	学生ID	g20170333	
	学年	1	
	性別	男	
	学部	経済学部	
	学科	経済学科	

<profile>

プロフィールを定義します。システム共通と、カルテ用とあります。

属性

なし

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<param/>		任意 の数	プロフィールの項目を記述します

<param>

プロフィール項目を定義します

名称	必須	詳細
name	必須	値:"profile.grade" 説明:プロフィールに表示する値を指定します。接頭辞によってデ ータの保存先が変わります。接頭辞には三種類あります。 1.「profile.」WebClassのシステム共通のプロフィールで す。WebClass管理画面のユーザ管理から編集可能です。 2.「custom_profile.」修学カルテ用のカスタマイズのプロフィー ルです。自由に項目を追加できます。おおよその環境で使用可 能ですが、OSが古いと使えない場合があります。 3.「custom.」"custom_profile."の下位互換です。検索とソート ができませんが、すべての環境で使用可能です。

名称	必須	詳細
type	必須	値:"text","file" 説明:テキスト型かファイル型か選択できます。
label	必須	説明:任意のテキスト 説明:プロフィールに表示する際のラベルです。
list-column		値:"true", "false" デフォルト : "false" 説明:ユーザー覧画面で表示するかどうか指定します。"profile." あるいは"custom_profile."で始まるプロフィール項目が対象で す。ファイル形式の項目については無効。
edit-auth		値:"adviser","self","adviser,self" 説明:編集可能なユーザーを設定します。"self"にすると学生本 人が編集可能です。"adviser"にするとアドバイザーが編集可能 です。name属性がemailのときは設定できず、常に編集不可で す。
placeholder		値: 任意のテキスト 説明:テキスト型のとき、placeholderを設定できます。
form_type		値:"text","textarea" 説明:テキスト型のとき、入力欄が1行か複数行か選択できます。
search		値: "wildcard" "range" 説明:デフォルトは"wildcard"です。 wildcard ⇒ ワイルドカードで検索できるようになります range ⇒ 数値範囲検索できるようになります。プロフィールの値 が数値のみであるときに有効です。単位の文字列が含まれてい る場合は検索対象外です。

なし

記述例

```
<profile>
 <param name="email" label="eメール" />
 <param name="profile.photo" label="写真" />
 <param name="profile.furigana_name" label="ふりがな" />
 <param name="profile.furigana_roma" label="Name"/>
 <param name="profile.grade" label="学年" list-column="true"/>
 <param name="profile.sex" label="性別"/>
 <param name="profile.faclt" label="学部" list-column="true"/>
 <param name="profile.dept" label="学科" list-column="true"/>
 <param name="profile.admitted_year" label="入学年度"/>
 <param name="custom_profile.comment" label="1行の入力欄
(一覧での検索とソートに使用可能)" placeholder="入力例です" type="text" edit-
auth="self" list-column="true" />
 <param name="custom_profile.comment_textarea" label="複数行入力欄
(一覧での検索とソートに使用可能)" type="text" form_type="textarea" edit-
auth="self" list-column="true" />
 <param name="custom_profile.attach" label="添付ファイル" type="file" edit-
auth="self" />
 <param name="custom.comment" label="1行の入力欄" placeholder="入力例です"</pre>
type="text" edit-auth="self"/>
 <param name="custom.comment textarea" label="複数行入力欄" type="text"</pre>
form_type="textarea" edit-auth="self"/>
 <param name="custom.attach" label="添付ファイル" type="file" edit-auth="self"
/>
</profile>
```

カードを定義するタグの仕様

カードには、定義した入力項目をそのまま表示・更新する<static_card>と、定義した入力項目を1つのデ ータセットとして複数の入力を追記する<appendable_card>の2種類があります。カードの中には、入力 項目として<field>を定義します。<field>には選択式、記述式、ファイルアップロード、ルーブリックなどの形 式が用意されています。

<static_card>

固定されたカードの内容を記述します

1 41				
編集期間: 2017-05 更新日時: 2017-05	-01 12:00 ~ 2017-05 -11 13:22:09	-26 12:00		
アドバイザー欄の更	新日時:未入力 »アド/	「イザー記入欄		
編集				
* 振り返り	未回答			
レープリック1				
	4	3	2	1
≧験とのつながり 関 重する経験と学術的 □識をつなげる	専門分野の理解を漂 め、自分の視野を広 けるために、授業外 での経験(生活上の 経験や、インターン シップや海外旅行な ど学問的な経験)の あいだを有意義に結 びつけられた	◆専門分野の概念・ 理論・枠組みを明確にするために、 さまざまな状況 (家庭、芸術への 関わり、社会参加、仕事経験な ど)から生活上の 経験例を効果的に 選び、展開できた		
■問分野とのつなが) 学問分野間や複数)見方のあいだのつ いがりがわかる、つ いがりを作る	◆ 目主的に、複数の 学問分野や見方からの事例、事実、 理論をおびつけて、多数の部分から全体像を作り出したり(統合したり)、結論を導い たりできた			
置用・応用 獲得した	難しい問題を結決し たり複雑な課題を探			◆ 草礎的な形で、 嫌

名称	必須	詳細
id	必須	値: 英数字とアンダースコアのみ。 説明: cardのIDです。全てのcard間でユニークである必要があり ます。IDに使用できる文字は半角英数字と"-"と"_"のみです。ま た、アルファベットから開始する必要があります。
title	必須	値: 任意のテキスト 説明: カードのタイトルです
order		値: 正の整数 説明: カードを表示するときの順番です。orderの指定がない場 合、XMLでの記述順に並びます。

名称	必須	詳細
default-viewable		値: "true","false" 説明: カードが学生に表示されるかどうかの初期設定。"true"に すると最初から表示されます。デフォルトは"true"
default-adviser-viewable		値: "true","false" 説明: カードがアドバイザーに表示されるかどうかの初期設定。 デフォルトは"true"
edit-protect-setting		 値: "true","false" 説明: 学生の入力可能期間を制限するかどうかの設定 入力可能期間の制限をする場合 ("true" またはこの属性を 指定しない場合) 入力可能期間を設定できます。 学生は設定された期間内のみ入力できます。 期間を設定しない場合、学生は入力できません。 入力可能期間の制限をしない場合 ("false"の場合) 学生はいつでも入力可能です。
edit-protect-target		値: "self","adviser","adviser,self" 説明: 編集期間の制限をする対象を設定します。デフォルト は"self"。 edit-protect-settingがtrueのときのみ反映されます。
allow-external-login		値: "true","false" 説明: このカルテで外部公開機能が有効(<doc>タグのallow- external-login属性が"true")になっているとき、このカードが公 開可能かどうかを切り替えられます。デフォルトは"false"です。</doc>
tab-font-color		値: 任意のテキスト 説明: タブの文字色が指定した色に固定されます。「red」 や「#ff0000」 のようにcssで有効な色の値を設定できます。
tab-background-color		値: 任意のテキスト 説明: タブの背景色が指定した色に固定されます。
index-font-color		値: 任意のテキスト 説明: summaryのindex(カードー覧)の文字色が指定した色に 固定されます。
index-background-color		値: 任意のテキスト 説明: summaryのindex(カードー覧)の背景色が指定した色に 固定されます。

名称	必須	詳細
auto-update-title-from		 値: 英数字とアンダースコアのみ。 説明: <field>のidを指定します。指定したフィールドにユーザ が入力して保存すると、カードタイトル(タブ名など)が入力値に 変化します。auto-update-title-fromで指定する <field> は type=text かつ form_type=text か、type=select である必 要があります。</field></field>

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<field></field>		任意 の数	入力項目を設定します
<rubric-chart></rubric-chart>		任意 の数	ルーブリックの回答がグラフで表示されます。このタグでグラ フの設定を行います。直下に記述できるタグについてはペー ジ下にある` <rubric-chart>`を参考にしてください。</rubric-chart>
<number-chart></number-chart>		任意 の数	数値式の回答がグラフで表示されます。このタグでグラフの 設定を行います。直下に記述できるタグについてはページ下 にある` <number-chart>`を参考にしてください。</number-chart>
		任意 の数	説明文を表示できます
<markdown></markdown>		任意 の数	markdownを使用した説明文を表示できます。詳しく は` <markdown>`の項を参考にしてください。</markdown>
<copy-field></copy-field>		任意 の数	他のカードの入力項目の値をコピーして表示します。copy- field側からは編集できません。
		任意 の数	表を表示できます。詳しくは``の項を参考にしてくだ さい。
<style></style>			

<appendable_card>

追記可能なカードの内容を記述します。

≪デフォルトレイアウト≫ 用意したfieldを列とするテーブルで表示します。

資料			
編集期間: 更新日時:	2017-05-01 12:00 ~ 2017 2017-05-09 17:46:35	7-05-31 12:00	
保存	キャンセル		
	* ファイル	說明	
ファイルを選択 dummy.pdf		∞。についてのレポートです。	削除 2017-05-09 17:46:3 shugaku1
ファイルを	dummy.pdf	××についてのレポートです。	Alls
追加			
保存	キャンセル		

《categorizedレイアウト》

入力項目を一まとめのセットにしてカテゴリ分けして表示します。

活動記録

編集期間: 2017-12-01 12:00 ~ 2018-01-01 12:00 更新日時: 2017-12-08 16:26:50

新規登録する

_		ソート: 更新日時 ▼ 降順 ▼
検索	編集	削除
インターン(1) 部活動(2) 課外活動(1)	日付	2017/11/30 (記入日時:2017-12-08 16:26:50 [玉置 由太郎])
ボランティア(3)	カテゴリ	ボランティア (記入日時:2017-12-08 16:26:50 [玉置 由太郎])
	内容	ボランティア活動に参加しました (記入日時:2017-12-08 16:26:50 [玉置 由太郎])
	編集	削除
	日付	2017/11/27 (記入日時:2017-12-08 16:26:22 [玉置 由太郎])
	カテゴリ	ボランティア (記入日時:2017-12-08 16:26:22 [玉置 由太郎])

名称	必須	詳細
id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:cardのIDです。全てのcard間でユニークである必要があり ます。IDに使用できる文字は半角英数字と"-"と"_"のみです。ま た、アルファベットから開始する必要があります。
title	必須	値:任意のテキスト 説明:カードのタイトルです
append-auth	必須	値:"self","adviser","adviser,self" 説明:追加可能なユーザーを設定します。"self"にすると学生本 人が追加可能です。"adviser"にするとアドバイザーが追加可能 です

名称	必須	詳細
order		値:正の整数 説明:カードを表示するときの順番です。orderの指定がない場 合、XMLでの記述順に並びます。
default-viewable		値:"true","false" 説明:カードが学生に表示されるかどうかの初期設定。"true"に すると最初から表示されます。デフォルトは"true"
default-adviser-viewable		値:"true","false" 説明:カードがアドバイザーに表示されるかどうかの初期設定。 デフォルトは"true"
edit-protect-setting		値: "true","false" 説明: 学生の入力可能期間を制限するかどうかの設定
		• 入力可能期間の制限をする場合 ("true" またはこの属性を 指定しない場合)
		。入力可能期間を設定できます。
		[。] 学生は設定された期間内のみ入力できます。
		[。] 期間を設定しない場合、学生は入力できません。
		・入力可能期間の制限をしない場合 ("false"の場合)
		[。] 学生はいつでも入力可能です。
edit-protect-target		値:"self","adviser","adviser,self" 説明:編集期間の制限をする対象を設定します。デフォルト は"self"。 edit-protect-settingがtrueのときのみ反映されます。
layout		値:"categorized","" 説明:値を"categorized"にすると、category-field-idで指定し たfieldの値に従って、タブ分けしてカードが表示されます。
category-field-id		値:英数字とアンダースコア。fieldタグのidの値を参照。 説明:選択したfieldの値によってタブをまとめます。fieldの種類 はselect,date,textのみ有効です。
allow-external-login		値:"true","false" 説明:このカルテで外部公開機能が有効(<doc>タグのallow- external-login属性が"true")になっているとき、このカードが公 開可能かどうかを切り替えられます。デフォルトは"false"です。</doc>
tab-font-color		値:任意のテキスト 説明: タブの文字色が指定した色に固定されます。「red」 や「#ff0000」 のようにcssで有効な色の値を設定できます。

名称	必須	詳細
tab-background-color		値:任意のテキスト 説明: タブの背景色が指定した色に固定されます。
index-font-color		値:任意のテキスト 説明: summaryのindex(カードー覧)の文字色が指定した色に 固定されます。
index-background-color		値:任意のテキスト 説明: summaryのindex(カードー覧)の背景色が指定した色に 固定されます。

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<field></field>		任意 の数	入力項目を設定します
		任意 の数	説明文を表示できます。appendable_cardの属性が、layout="categorized"のときのみ有効です。
<markdown></markdown>		任意 の数	markdownを使用した説明文を表示できます。詳しく は` <markdown>`の項を参考にしてくださ い。appendable_cardの属性が、layout="categorized"のと きのみ有効です。</markdown>
<copy-field></copy-field>		任意 の数	他のカードの入力項目の値をコピーして表示します。copy- field側からは編集できません。appendable_cardの属性 が、layout="categorized"のときのみ有効です。
<mark-complete></mark-complete>		任意 の数	完了ボタンを設定できます。詳しくは <mark-complete> の 項を参考にしてください。</mark-complete>

カード内に配置する項目を定義するタグの仕様

<field>

カードに載せる入力項目を記述します。入力項目の定義は<field_template>を参照します。

名称	必須	詳細
id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:fieldを一意に指定します

名称	必須	詳細
ref	必須	値: <field_template>のid 説明:入力項目の設定を参照します</field_template>
title		値:任意のテキスト 説明: <field_template>のtitleの設定を上書きします。</field_template>
show-title		値:"true","false" 説明: <field_template>のshow-titleの設定を上書きします。</field_template>
chain-id		値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:同じchain-idを持つfieldは、編集時には、まず先頭のfield だけ表示され、「入力欄の追加」ボタンを押すことで続くfieldが 表示されます。 static_cardとlayout=categorizedのappendable_cardでのみ 有効です。

<field>のidさえ異なれば、一つのcard内に同じ入力項目を並べることができます。

```
<static_card id="card1">
<!-- <field_template id="date"> と <field_template
id="comment"> を3回参照している -->
1日目
<field ref="date" id="day1-date"/>
<field ref="comment" id="day1-comment"/>
2日目
<field ref="date" id="day2-date"/>
<field ref="comment" id="day2-comment"/>
3日目
<field ref="comment" id="day3-date"/>
<field ref="comment" id="day3-comment"/>
<field ref="comment" id="day3-comment"/>
<field ref="comment" id="day3-comment"/>
<field ref="comment" id="day3-comment"/>
```

chain-idの設定例です。

```
<static card id="card1">
```

<field ref="file" id="file1" chain-id="aaa" title="資料1"/>
<field ref="file" id="file2" chain-id="aaa" title="資料2"/>
<field ref="file" id="file3" chain-id="aaa" title="資料3"/>
<markdown display-only-while-editing="true">最大
3つまで添付ファイルをアップロードできます。</markdown>

```
<field ref="comment" id="comment1" chain-id="bbb"
title="コメント1"/>
<field ref="comment" id="comment2" chain-id="bbb"
title="コメント2"/>
<field ref="comment" id="comment3" chain-id="bbb"
title="コメント3"/>
<markdown display-only-while-editing="true">最大
3つまでコメントを追加できます。</markdown>
</static_card>
```

E

直下に記述できるタグ

なし

<markdown>

Markdownで書かれたテキストを挿入できます。 Markdownとは、HTMLより手軽に書ける、見出しやリストなどの構造を表現できる文章の記法です。 画面に表示する際にはHTMLに変換されます。

修学カルテのMarkdownには、標準的な書き方に次の拡張記法が追加されています。

- ・ 文末にスペースを2つ以上入れなくても、そのまま改行されます
- [[br]]で表内部へ改行を挿入できます
- ・次のように記述することで文字列をcssで装飾できます

[[color:red; text-decoration:underline]]赤色と下線で装飾された文字列[[/]]

属性

名称	必須	詳細
id		値:任意のテキスト 説明:ID属性を指定できます。ページ内リンクに使用することを 想定しています。
display-only-while-editing		値:"true" "false" 説明: 値がtrueに設定されている場合、編集中にの みMarkdownの内容を表示します。

記述例

<	markdown> # 見出し1 ## 見出し2 ### 見出し3 ##### 見出し4 ###### 見出し5 ###### 見出し6
	## 装飾
	1行目です 2行目です
	太字 の装飾 [[color:red]]赤色[[/]]の装飾 [[text-decoration:underline]]下線[[/]]の装飾 [[color:red; text-decoration:underline]]赤色で下線[[/]]の装飾

```
## 区切り線
  _ _ _ _
 ## リスト
 * Item 1
 * Item 2
     * Item 2a (半角スペース4つ必要です)
     * Item 2b
 ## 順序付きリスト
 1. Item 1
 1. Item 2
     1. Item 2a (半角スペース4つ必要です)
     1. Item 2b
 ## リンク
 [
マニュアル](https://webclass.jp/manuals/admin/shugaku_carte/ja/introduction.htm
1)
 [ページ内リンク](#markdown-test1)
 ## 表
  | Left align | Right align | Center align |
  |:-----:|:-----:|:-----:|:
 | This | This | This |
| column | column | 表の中で[[br]]改行する|
  | will
            | will
                         | will
            | be
  | be
                         | be
  | left | right | center
| aligned | aligned | aligned
 ## 画像
 ![Minion](https://octodex.github.com/images/dojocat.jpg)
</markdown>
<!-- テキストに半角の `<>` を含む場合はこのように`<![CDATA[`
`]]>、で全体を囲むようにしてください。-->
<markdown>
 <![CDATA]
 ## 引用
```

> 引用文
> > > ネストした引用
]]>
<markdown id="test1"></markdown>
markdownブロックに対してページ内リンクを張ることができます。
markdownブロックのid属性を"test1"とすると、`[ページ内リンク](#markdown-
test1)`でページ内リンクを作成できます。

v2.14.8から ../カルテテンプレートのID をリンク先に指定することでカルテ間にリンクを張れるようになりました。

```
<markdown>
## リンク
[臨床実習](../clinical)
[医行為](../ikoui)
[到達目標](../totatsu)
</markdown>
```

<copy-field>

`<copy-field>`を設置したカードに、他のカードで入力した値を表示できます。たとえば年度ごとに振り返りをするカルテを作成したとき、 今年度の入力をする際に参考として前年度の目標を表示するという使い方ができます。

名称	必須	詳細
card-id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:対象のカードのidを指定します。static_cardのみを指定で きます。
field-id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:対象のfieldのidを指定します。
title		値:任意のテキスト 説明:タイトルを変更して表示します。たとえば前年度カードの「 目標」を「前年度の目標」と表示できます。
show-title		値:"true","false" 説明:タイトルを表示するかどうかを切り替えることができます。
title-font-color		値:任意のテキスト 説明: タイトルの文字色が指定した色に固定されます。「red」 や「#ff0000」 のようにcssで有効な色の値を設定できます。

名称	必須	詳細
title-background-color		値:任意のテキスト 説明: タイトルの背景色が指定した色に固定されます。
show-modified-info		値:"true","false" 説明:更新日時を表示するかどうかを切り替えることができます。
form_type		 値:テキスト 説明: <field_template> のform_type属性を上書きできます。</field_template> 指定できるform_typeは、元の <field> の type属性によって異なります。</field> 基本的なtype属性と対応するform_typeについては、 <field_template> タグの form_type '属性を参照してください。</field_template> 上記に加えて '<copy-field> では type="rubric" のときにform_type="value" を設定可能です。</copy-field> form_type="value" を設定すると、ルーブリックの表ではなく単に選択した数値が羅列されます。

<message-form>

カルテ内にメッセージ送信フォームを設置します。記入内容は、WebClassメッセージとして送信され、カ ルテには保存しません。報告内容をアドバイザー同士でも共有せず管理者などだけに知らせたいときに 使用します。

属性

名称	必須	詳細
visible-auth	必須	値:"adviser","self","adviser,self","external" 説明:メッセージ送信フォームを表示するユーザーを設定しま す。"self"にすると学生本人が編集可能です。"adviser"にすると アドバイザーが編集可能です。"external"にすると外部公開者が 編集可能です。
to	必須	値:カンマ区切りのユーザID 説明:メッセージの宛先を設定します
subject	必須	値:任意のテキスト 説明:メッセージの件名を設定します

直下に記述できるタグ

<markdown>と<message-form-param>を記述できます。

記述例

<message-form vi<br="">to</message-form>	sible-auth="advise >="admin1,author1,a ubject="アンプロフェッ	:r" iuthor2" ッショナルな態度に	こついての報告">	
<markdown> ## アンプロフ </markdown>	エッショナルな態度にな	ついての報告		
<message-form- <message-form- ~2019/04/23" la</message-form- </message-form- 	·param type="text" ·param type="text" abel="実習期間"/>	require="true" require="true"	label="診療科"/> placeholder="2019/04,	/05
<message-form- <message-form- <message-form- label="報告"/></message-form- </message-form- </message-form- 	·param type="text" ·param type="text" ·param type="text"	label="ご所属"/ require="true" require="true"	> label="作成医氏名"/> form_type="textarea"	
<markdown></markdown>				
このままでは将来、 や態度について、日 	患者の診療に関わらせ 時と事実内容を列挙 ⁻	±ることが出来ない 下さい。できるだけ	ヽと考えられる学生の具体 詳細にお願いします。	⊼的な行動

上記の例では、以下のような内容のメッセージが送信されます

カルテ: 2019年度臨床実習 カード: ローテーション1 ユーザID: user1 氏名: 学生1 【診療科】 内科1 【実習期間】 2019/04/05~2019/04/23 【ご所属】 ○○病院 【作成医氏名】 xx太郎 【報告】

<message-form-param>

メッセージ送信フォームへの入力項目を設定します

属性

名称	必須	詳細
label	必須	値:任意のテキスト 説明:項目名を設定します
form_type	必須	値:"text" "textarea" 説明:入力項目の形式を指定します。textは1行の入力 欄。textareaは複数行の入力欄です。
require	必須	値:"true" "false" 説明:必須項目かどうか設定します。必須項目を空にしたままだ とメッセージ送信できなくなります
placeholder	必須	値:任意のテキスト 説明:プレースホルダに表示する文を設定します

表組で、や <field> を表示できます。

属性

名称	必須	詳細
style		値:任意のテキスト 説明:HTMLのstyle属性で指定可能な値を設定可能です。
class		値: 任意のテキスト 説明: このタグにclass名を指定できます。ここで指定したclass 名を < <mark>style</mark> > タグのCSSから参照できます。

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
		任意 の数	表の行になります

記述例

```
<static_card id="test" title="テスト">
<style>
.my-table-heading{
  background-color: #DEE9FF;
}
</style>
>実習日
 >実習先
  感想
 <field id="jissyubi1" ref="jissyubi" />
  <field id="jissyusaki1" ref="jissyusaki" />
  <field id="kansou1" ref="kansou" />
  <field id="jissyubi2" ref="jissyubi" />
  <field id="jissyusaki2" ref="jissyusaki" />
  <field id="kansou2" ref="kansou" />
  </static_card>
```

実習日	実習先	感想
回答なし	回答なし	回答なし
回答なし	回答なし	回答なし

表の行です。

属性

名称	必須	詳細
style		値:任意のテキスト 説明:HTMLのstyle属性で指定可能な値を設定可能です。
class		値: 任意のテキスト 説明: このタグにclass名を指定できます。ここで指定したclass 名を <style></style>

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
		任意 の数	表のセルになります

表のセルです。文 のようにセルの中に直接文を記述できません。セルの中に文を入れるには、文 のように記述する必要があります。

名称	必須	詳細
colspan	必須	値:整数 説明:指定した数だけセルが列方向に繋がります。

名称	必須	詳細
rowspan	必須	値:整数 説明:指定した数だけセルが行方向に繋がります。
style		値:任意のテキスト 説明:HTMLのstyle属性で指定可能な値を設定可能です。
class		値: 任意のテキスト 説明: このタグにclass名を指定できます。ここで指定したclass 名を <style></style>

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
		任意 の数	セルに文章を表示します
<field></field>		任意 の数	セルに入力項目を表示します

<style>

CSSを設定できます。設定したCSSの影響範囲はカード内に限られます。static_card内にのみ設置可能です。

<mark-complete>

カード上部に完了ボタンを設置します。通常、ユーザの入力状況一覧における「未」「済」の表示は、すべての入力欄(必須項目があるときは、必須項目のすべて)が埋まっている否かで切り替わります。完了ボタンがある場合は、完了ボタンを押したかどうかで判定されるようになります。 完了ボタンは押した後に編集ロックされていなければ取り消しできます。

名称	必須	詳細
id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明: カードの中で重複がないように設定する必要があります。
title	必須	値:任意のテキスト 説明:設定したテキストがボタンに表示されます
complete-target		値:"self","adviser" の二つからカンマ区切りで複数指定可能 説明: 完了ボタンが押されたときに「未」 「済」のステータスを変 更する対象の権限を設定します。

名称	必須	詳細
edit-auth		値:"self","adviser","external" の三つからカンマ区切りで複数 指定可能 説明: 完了ボタンをクリックできる権限を設定します。
lock-target		値:"self","adviser","external" の三つからカンマ区切りで複数 指定可能 説明: 完了ボタンが押されたときに編集ロックされる権限を設定 します。編集ロックされた権限のユーザはカードを編集できなく なります。また入力完了ボタンも編集できなくなります。

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<child></child>		任意 の数	子の完了ボタンを指定します。

<child>

ーつの完了ボタンを押すと、同時に他のカードの完了ボタンも一括でステータスが変わるように設定できます。 操作するボタンを親の完了ボタン、親の完了ボタンに連動するボタンを子の完了ボタンとします。 親のボタンをクリックしたとき、子のボタンはedit-auth属性に関わらず強制的に変更されます。 子の完了 ボタンのedit-auth属性を空欄にすると、親の完了ボタンでのみ操作可能なボタンになります。

属性

名称	必須	詳細
card-id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明:子の完了ボタンがあるカードのidを指定します。
mark-complete-id	必須	値:英数字とアンダースコアのみ。 説明: 子の完了ボタンのidを指定します。

<handout>

配布ファイル設定で登録したファイルを、学生に配布できます。 また、成績データの連携をしている場合、成績データをエクセルファイルで出力可能です。 学生は、カード内に表示されるダウンロードリンクからファイルをダウンロードできます。 <handout>は、<static_cerd> <appendable_card> に設置できます。 実際の設定方法は配布ファイルをご参照ください。

20240718_handout_test 学生間 ユーザル tit2-carte-user01 氏名 学生1 エクスポート 印刷用画面 Summary 1年次 は炭漬 ニータエクセルのダウンロード 教職入門レポートのダウンロード サンプルレポート (経済学)のダウンロード

属性

名称	必須	詳細
filename	必須	値: 配布するファイル名 説明: 配布ファイル登録をした中から、配布したいファイル名を 指定します。
organization-id	必須	値: 配布ファイル登録した組織ID 説明: 配布ファイル登録した組織IDを指定します。 組織IDは、「組織の管理」から該当の組織を選択すると、組織の 下に記述されています。
label	必須	値: 任意のテキスト 説明: カルテ内に表示される配布ファイルのダウンロードリンク 名を設定できます。
class		値: 任意のテキスト 説明: このタグにclass名を指定できます。ここで指定したclass 名を < <mark>style</mark> > タグのCSSから参照できます。
style		値:任意のテキスト 説明: HTMLのstyle属性で指定可能な値を設定可能です。

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<write-excel-sheet></write-excel-sheet>		任意の数	名前やプロフィール、成績をエクセルファイルで出力できま す。 配布ファイルがエクセルファイルの時、指定したシートの2行 目以降にデータを出力します 成績を出力するには、成績データの連携をしている必要があ ります。
<write-excel-sheet>

名前やプロフィール、成績データをエクセルファイルで出力できます。 配布ファイルがエクセルファイルの時、指定したシートの2行目以降にデータを出力します 成績を出力するには、成績データの連携をしている必要があります。

属性

名称	必須	詳細
name	必須	
		説明: エクセルのテータを書き込むシート名を設定できます。

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<write-column></write-column>		任意 の数	データを書き込むエクセルの列とデータの内容を指定しま す。

<write-column>

属性

名称	必須	詳細
name	必須	値: エクセルの列 説明: エクセルの列を指定します。 例)a,b,c
data	必須	値: "user.id" "user.name" "profile.~" "result.成績データ名" 説明: "user.id"と"user.name"の指定でユーザIDと氏名の出力 が可能です。 "profile.~" で写真以外のWebClassのプロフィールを出力でき ます。指定方法はprofile/paramタグと同じです。 "result.成績データ名" で各成績データを出力できます。有効な 成績データ名は連携内容によって異なります。 例) result.科目名、result.科目コード、result.単位
type		値: number,text 説明: エクセルでセルの書式設定で、「数値」と「文字列」を選択 できますが、"number"は「数値」、"text"は「文字列」に対応して います。

サマリーの表示を定義するタグの仕様

サマリーでは、各カードへの入力状況などを表示し、ルーブリックの回答をグラフで可視化します。

サマリーは <summary> で設定できます。<summary> を設定しなかった場合も、サマリーは表示されます。 この場合、<axis-type>each-dimension</axis-type> と記述したときと同じように、ルーブリックの回答 がレーダーチャートで表示されます。

入力状況

	1年次		2年次		3年次		欠
学生	2019-08-30	学生	2019-08-30	学生	2019-08-30	学生	未入力
アドバイザ	一未入力	アドバイザ	一未入力	アドバイザ	一未入力	アドバイザ	一未入力

レーダーチャート



<summary>

属性

名称	必須	詳細
show		値:"true","false" 説明:サマリーを表示するか否か設定します

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<rubric-chart></rubric-chart>		1つ のみ	ルーブリックの回答がレーダーチャートで表示されます。この タグでレーダーチャートの設定を行います。
<number-chart></number-chart>		任意 の数	数値式の回答がレーダーチャートで表示できます。このタグ でレーダーチャートの設定を行います。
<extract-static-field></extract-static-field>		任意 の数	fieldへの入力値を各カードから抽出して、サマリーに表示します。

<extract-static-field>

fieldを各カードから抽出して、サマリーに表示します。<static_card>の値のみ抽出します。

属性

名称	必須	詳細
target-id-list	必須	値:fieldのid 説明:抽出するfieldのidを指定します。
title		値:任意のテキスト 説明:タイトルを付けることができます。

直下に記述できるタグ

なし

グラフの表示を定義するタグの仕様

<rubric-chart>

ルーブリックの回答がレーダーチャートで表示されます。このタグでレーダーチャートを設定します。

属性

名称	必須	詳細
show		値:"true","false" 説明:レーダーチャートを表示するか否か
hide-if-empty		値:"true","false" 説明:trueに設定すると、seriesがすべて非表示であるときにグラ フごと非表示にします。seriesタグのhide-if-empty属性と同時に 使用することを想定しています。

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<radar></radar>		任意 の数	このタグーつにつき、一つのレーダーチャートを表示します。
<axis-type></axis-type>		任意の数	値:"each-dimension","each-field" 説明: <radar> の省略記法です。学生に表示されているカー ドとルーブリックが対象になります。値がeach-dimensionで あれば、ルーブリックごとにレーダーチャートが表示され、ル ーブリックのdimensionがレーダーチャートの軸になりま す。each-fieldであれば、各ルーブリックがレーダーチャート の軸になり、ルーブリックごとの平均値が表示されます。</radar>

レーダーチャート省略記法記述例

各ルーブリックごとにレーダーチャートを表示する

```
<summary>
<rubric-chart>
<axis-type>each-dimension</axis-type>
</rubric-chart>
</summary>
```

```
レーダーチャート
```



ーつのルーブリックにまとめる

<axis-type>each-field</axis-type> と記述すると、各ルーブリックがレーダーチャートの軸になり、ル ーブリックごとの平均値が表示されます。

```
<summary>
<rubric-chart>
<axis-type>each-field</axis-type>
</rubric-chart>
</summary>
```





<number-chart>

数値式の回答をグラフで表示します。このタグ内にグラフの詳細を設定します。

属性

名称 必須	詳細
-----------	----

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<radar></radar>		任意 の数	このタグーつにつき、一つのレーダーチャートを表示します。
<line-graph></line-graph>		任意 の数	このタグーつにつき、一つの折れ線グラフを表示します。
<stacked-bar-graph></stacked-bar-graph>		任意 の数	このタグーつにつき、一つの積み上げ棒グラフを表示しま す。

<radar>

属性

名称	必須	詳細
title		値:任意文字 説明:グラフのタイトルを指定します。
width		値:整数値 説明:グラフの幅を指定します。単位はpxです。
ticks		値:数値 説明:値軸の目盛りの値の間隔を指定します。
legend-max-column-count		値:整数値 説明: 1行に表示する凡例の最大数を指定します。設定した数ご とに改行します。

レーダーチャート記述例

レーダーチャート表示の対象とするデータ、グラフの幅、ラベル、各系列の色を指定できます。

```
<summary>
<rubric-chart>
<radar title="分野別の自己評価[[br]]+これで改行できます" width="700">
<header>
<axis label="生徒についての理解[[br]]+これで改行できます" />
<axis label="他者との協力" />
<axis label="出考ュニケーション" />
</header>
<data>
<series label="1年[[br]]+これで改行できます">
<value card-id="grade1" field-id="understanding_of_children" />
<value card-id="grade1" field-id="cooperation" />
<value card-id="grade1" field-id="communication" />
<value card-id="grade1" field-id="communication" />
</series>
```

```
<series label="2年">
         <value card-id="grade2" field-id="understanding_of_children" />
         <value card-id="grade2" field-id="cooperation" />
         <value card-id="grade2" field-id="communication" />
       </series>
       <series label="3年">
         <value card-id="grade3" field-id="understanding_of_children" />
         <value card-id="grade3" field-id="cooperation" />
         <value card-id="grade3" field-id="communication" />
       </series>
     </data>
    </radar>
   <radar title="生徒についての理解">
     <header>
       <axis label="心理·発達論" />
       <axis label="学習集団の形成" />
       <axis label="いじめ、不登校、特別支援教育" />
     </header>
     <data>
       <series label="1年" color="#000">
         <value card-id="grade1" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="psychology" />
         <value card-id="grade1" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="organize" />
         <value card-id="grade1" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="problem solving" />
       </series>
       <series label="2年" color="#fff">
         <value card-id="grade2" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="psychology" />
         <value card-id="grade2" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="organize" />
         <value card-id="grade2" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="problem_solving" />
       </series>
       <series label="3年" color="#f00" hide-if-empty="true">
         <value card-id="grade3" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="psychology" />
         <value card-id="grade3" field-id="understanding_of_children"
dimension-id="organize" />
         <value card-id="grade3" field-id="understanding of children"
dimension-id="problem_solving" />
       </series>
     </data>
   </radar>
 </rubric-chart>
</summary>
```



<line-graph>

属性

名称	必須	詳細
title		値:任意文字 説明:グラフのタイトルを指定します。
ticks		値:数値 説明:値軸の目盛りの値の間隔を指定します。
grid		値:数値 説明:値軸の補助目盛線の値の間隔を指定します。
height		値:整数値 説明:グラフの高さを指定します。単位はpxです。
width		値:整数値 説明:グラフの幅を指定します。単位はpxです。
legend-max-column-count		値:整数値 説明: 1行に表示する凡例の最大数を指定します。設定した数ご とに改行します。
hide-if-empty		値:"true","false" 説明:trueに設定すると、seriesがすべて非表示であるときにグラ フごと非表示にします。seriesタグのhide-if-empty属性と同時に 使用することを想定しています。

折れ線グラフ記述例

```
<line-graph title="折れ線グラフ"
           height="150"
           ticks="20"
           grid="10">
 <header>
   <axis label="総合"/>
   <axis label="数理"/>
   <axis label="構造的把握"/>
   <axis label="言語"/>
 </header>
  <data>
   <series label="1年次" color="red">
     <value card-id="grade1" field-id="score1"/>
     <value card-id="grade1" field-id="score2"/>
     <value card-id="grade1" field-id="score3"/>
     <value card-id="grade1" field-id="score4"/>
   </series>
    <series label="2年次" color="blue" dashed="true">
     <value card-id="grade2" field-id="score1"/>
     <value card-id="grade2" field-id="score2"/>
     <value card-id="grade2" field-id="score3"/>
     <value card-id="grade2" field-id="score4"/>
   </series>
   <series label="3年次" color="green" hide-if-empty="true">
     <value card-id="grade3" field-id="score1"/>
     <value card-id="grade3" field-id="score2"/>
     <value card-id="grade3" field-id="score3"/>
     <value card-id="grade3" field-id="score4"/>
   </series>
 </data>
</line-graph>
```



<stacked-bar-graph>

属性

名称	必須	詳細
title		値:任意文字 説明:グラフのタイトルを指定します。
ticks		値:数値 説明:値軸の目盛りの値の間隔を指定します。
grid		値:数値 説明:値軸の補助目盛線の値の間隔を指定します。
height		値:整数値 説明:グラフの高さを指定します。単位はpxです。
width		値:整数値 説明:グラフの幅を指定します。単位はpxです。
legend-max-column-count		値:整数値 説明: 1行に表示する凡例の最大数を指定します。設定した数ご とに改行します。

名称	必須	詳細
hide-if-empty		値:"true","false" 説明:trueに設定すると、seriesがすべて非表示であるときにグラ フごと非表示にします。seriesタグのhide-if-empty属性と同時に 使用することを想定しています。

積み上げ棒グラフ記述例

```
<stacked-bar-graph title="積み上げ棒グラフ" ticks="20" height="360" grid="10">
  <header>
    <axis label="総合"/>
    <axis label="数理"/>
    <axis label="構造的把握"/>
    <axis label="言語"/>
  </header>
  <data>
    <series label="1年次" color="red">
     <value card-id="grade1" field-id="score1"/>
     <value card-id="grade1" field-id="score2"/>
     <value card-id="grade1" field-id="score3"/>
     <value card-id="grade1" field-id="score4"/>
    </series>
    <series label="2年次" color="blue" dashed="true">
     <value card-id="grade2" field-id="score1"/>
     <value card-id="grade2" field-id="score2"/>
     <value card-id="grade2" field-id="score3"/>
     <value card-id="grade2" field-id="score4"/>
    </series>
    <series label="3年次" color="green" hide-if-empty="true">
     <value card-id="grade3" field-id="score1"/>
     <value card-id="grade3" field-id="score2"/>
     <value card-id="grade3" field-id="score3"/>
     <value card-id="grade3" field-id="score4"/>
    </series>
  </data>
</stacked-bar-graph>
```



<series>

グラフの系列を設定します。

属性

名称	必須	詳細
label		値:任意文字 説明:系列のラベルを指定します。

© 2025 DATA PACIFIC (JAPAN) LTD.

名称	必須	詳細
color		値:任意文字 説明:系列の色を指定します。カラーコードを入力してください。
dashed		値:"true" "false" 説明:trueを指定すると系列の線が点線になります。
hide-if-empty		値:"true","false" 説明:trueに設定すると、valueで参照しているfieldの値がすべて 未入力のとき、seriesが丸ごと非表示になります。

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<value></value>		任意 の数	どのfieldの値をどこのグラフの点に反映するかを設定します

その他のタグの仕様

<before_cards>

プロフィールとカードの間に挟む説明文を記述します。

属性

なし

直下に記述できるタグ

名称	必須	記述 可能 な数	詳細
<markdown></markdown>		任意 の数	カードを選択する前に表示する説明文などを記入します

本書の一部または全部を事前に承諾を得ることなく複製および転載することを禁じます。 本書に記載されたその他の製品名および会社名は、各社の商標か登録商標です。 学習記録ビューアは金沢大学 大学教育開発・支援センターとの共同研究により開発されて います。